

# スキーマリファレンスマニュアル

*iPlanet™ Messaging and Collaboration*

**iPlanet Calendar Server 5.1 / iPlanet Messaging Server 5.2**

2002 年 1 月

Copyright © 2001, Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.

Sun™、Sun Microsystems™、Sun のロゴマーク、iPlanet™、iPlanet のロゴマーク、および Java Script™ は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc.(以下、米国 Sun Microsystems 社とします)の商標もしくは登録商標です。UNIX® は、X/Open Company, Ltd が独占的にライセンスしている米国およびその他の国における登録商標です。Netscape™ および Netscape の N のロゴマークは、米国およびその他の国における Netscape Communications Corporation 社の登録商標です。その他の Netscape のロゴマーク、製品名、およびサービス名もまた、米国の Netscape Communications Corporation の商標であり、その他の国においても登録されている可能性があります。

**Federal Acquisitions: Commercial Software—Government Users Subject to Standard License Terms and Conditions.**

本書で説明されている製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。Sun および Sun のライセンサーの書面による事前の許可なく、本製品および関連する文書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

# 目次

<b>本書について</b> .....	<b>9</b>
対象読者 .....	9
お読みになる前に .....	10
内容の紹介 .....	10
表記上の規則 .....	11
モノスペースフォント .....	11
太字のモノスペースフォント .....	11
斜体フォント .....	11
オンラインでこのマニュアルを入手するには .....	12
<b>第1章 概要</b> .....	<b>13</b>
<b>第2章 オブジェクトクラス</b> .....	<b>15</b>
オブジェクトクラスのリスト .....	15
オブジェクトクラス .....	17
domain .....	17
groupOfUniqueNames .....	18
icsCalendarResource .....	18
icsCalendarUser .....	19
inetAdmin .....	19
inetDomain .....	20
inetDomainAlias .....	21
inetDomainAuthInfo .....	21
inetDomainOrg .....	22
inetLocalMailRecipient .....	23
inetMailAdministrator .....	24
inetMailGroup .....	24

inetMailGroupManagement	25
inetMailUser	26
inetManagedGroup	27
inetResource	27
inetSubscriber	28
inetUser	29
ipUser	29
mailDomain	30
msgVanityDomainUser	31
nsManagedDept	32
nsManagedDeptAdminGroup	32
nsManagedDomain	33
nsManagedFamilyGroup	34
nsManagedISP	34
nsManagedMailList	35
nsManagedOrgUnit	35
nsManagedPerson	36
nsUniquenessDomain	37
pab	37
pabGroup	38
pabPerson	39
userPresenceProfile	40
<b>第3章 属性</b>	<b>41</b>
属性のリスト	41
属性	47
adminRole	47
businessCategory	47
calCalURI	48
calFBURL	48
cn	49
co	50
commonName (「cn」を参照)	50
countryName (「co」を参照)	50
dataSource	51
dateOfBirth	51
dc	52
description	52
domainUidSeparator	53
domOrgMaxUsers	54
domOrgNumUsers	54
facsimileTelephoneNumber	55
givenName	55

icsAlias	56
icsCalendar	56
icsCapacity	57
icsContact	57
icsDefaultAccess	58
icsDefaultSet	58
icsExtended	59
icsExtendedResourcePrefs	59
icsExtendedUserPrefs	60
icsFirstDay	63
icsFreeBusy	64
icsGeo	64
icsPartition	65
icsPreferredHost	65
icsQuota	66
icsSet	66
icsStatus	68
icsSubscribed	68
icsTimezone	69
inetCanonicalDomainName	69
inetCOS	70
inetDomainBaseDN	71
inetDomainCertMap	71
inetDomainSearchFilter	72
inetDomainStatus	73
inetMailGroupStatus	74
inetResourceStatus	75
inetSubscriberAccountId	75
inetSubscriberChallenge	76
inetSubscriberResponse	76
inetUserHttpURL	77
inetUserStatus	78
mail	79
mailAccessProxyPreAuth	79
mailAccessProxyReplay	80
mailAdminRole	81
mailAllowedServiceAccess	82
mailAlternateAddress	83
mailAutoReplyMode	83
mailAutoReplySubject	84
mailAutoReplyText	85
mailAutoReplyTextInternal	85
mailAutoReplyTimeOut	86

mailClientAttachmentQuota	86
mailConversionTag	87
mailDeferProcessing	87
mailDeliveryFileURL	88
mailDeliveryOption	89
mailDomainAllowedServiceAccess	90
mailDomainCatchallAddress	91
mailDomainConversionTag	91
mailDomainMsgMaxBlocks	92
mailDomainMsgQuota	92
mailDomainReportAddress	93
mailDomainSieveRuleSource	94
mailDomainStatus	94
mailDomainWelcomeMessage	96
mailEquivalentAddress	96
mailForwardingAddress	97
mailHost	98
mailMessageStore	98
mailMsgMaxBlocks	99
mailMsgQuota	99
mailProgramDeliveryInfo	100
mailQuota	101
mailRejectText	101
mailRoutingAddress	102
mailRoutingHosts	102
mailRoutingSmartHost	103
mailSieveRuleSource	104
mailSMTPSubmitChannel	105
mailUserStatus	106
maxPabEntries	107
memberOf	108
memberOfManagedGroup	108
memberOfPAB	109
memberOfPABGroup	109
memberURL	110
mgmanAllowSubscribe	110
mgmanDenySubscribe	111
mgmanGoodbyeText	111
mgmanHidden	112
mgmanIntroText	112
mgmanJoinability	113
mgmanMemberVisibility	114
mgmanVisibility	115

mgrpAddHeader .....	115
mgrpAllowedBroadcaster .....	116
mgrpAllowedDomain .....	116
mgrpAuthPassword .....	117
mgrpBroadcasterPolicy .....	118
mgrpDeliverTo .....	118
mgrpDisallowedBroadcaster .....	119
mgrpDisallowedDomain .....	120
mgrpErrorsTo .....	121
mgrpModerator .....	121
mgrpMsgMaxSize .....	122
mgrpMsgPrefixText .....	123
mgrpMsgRejectAction .....	123
mgrpMsgRejectText .....	124
mgrpMsgSuffixText .....	124
mgrpNoDuplicateChecks .....	125
mgrpRemoveHeader .....	126
mgrpRequestTo .....	126
mgrpRFC822MailMember .....	127
mnggrpAdditionPolicy .....	128
mnggrpBillableUser .....	128
mnggrpCurrentUsers .....	129
mnggrpDeletionPolicy .....	129
mnggrpMailQuota .....	130
mnggrpMaxUsers .....	130
mnggrpStatus .....	131
mnggrpUserClassOfServices .....	131
msgVanityDomain .....	132
multiLineDescription .....	132
nickName .....	133
nsDefaultMaxDeptSize .....	133
nsMaxDepts .....	134
nsMaxDomains .....	134
nsMaxMailingLists .....	135
nsMaxUsers .....	135
nsNumDepts .....	136
nsNumDomains .....	136
nsNumMailLists .....	137
nsNumUsers .....	137
nsdaCapability .....	138
nsdaDomain .....	138
nsdaModifiableBy .....	139
nswmExtendedUserPrefs .....	140

o	140
objectClass	141
organizationName	141
organizationUnitName (「ou」を参照)	142
ou	142
owner	142
pabURI	143
postalAddress	144
preferredLanguage	145
preferredMailHost	145
preferredMailMessageStore	146
seeAlso	146
sn	147
telephoneNumber	147
uid	148
un	148
uniqueMember	149
userid (「uid」を参照)	150
userPassword	150
vacationEndDate	150
vacationStartDate	151
<b>付録 A 一般的な情報</b>	<b>153</b>
LDAP の概要	153
属性の構文	154
オブジェクトの識別子	155
ISO 8601 タイムゾーン	155
<b>用語集</b>	<b>159</b>
<b>索引</b>	<b>171</b>



# 本書について

このマニュアルは、LDAP を使用する iPlanet™ Messaging and Collaboration 製品、特に iPlanet Messaging Server 5.2 と iPlanet Calendar Server 5.1 のスキーマ情報を参照するためのマニュアルです。

この章には、以下の項目があります。

- 対象読者
- お読みになる前に
- 内容の紹介
- 表記上の規則
- オンラインでこのマニュアルを入手するには

## 対象読者

LDAP を使用して iPlanet Messaging Server または iPlanet Calendar Server をプロビジョニングする場合は、このマニュアルをお読みください。このマニュアルの対象読者は、次の方々です。

- 企業データベースや課金システムなどの、ユーザ、グループ、およびドメイン情報に関連する既存のソースと、LDAP ディレクトリ内の iPlanet Messaging and Collaboration 製品のエントリとのインタフェースとなる、カスタマイズされたプロビジョニングツールを開発するシステム設計者。
- ドメイン、ユーザ、グループ、またはリソースのエントリを LDAP を使用して作成する方法を知りたいサイト管理者。

このマニュアルは、LDAP、iPlanet Directory Server、および電子メールまたはカレンダーの基本的な概念を理解していることを前提としています。

## お読みになる前に

このマニュアルでは、読者が以下の予備知識を持っていることを前提にしています。

- インターネットおよび WWW (ワールドワイドウェブ)
- iPlanet Administration Server
- Netscape™ Directory Server および LDAP
- 電子メールとその概念 / カレンダーとその概念
- Netscape Console
- RFC 2798、および RFC 2445

これらの RFC は、次の IETF Web サイトで参照できます。

- <http://www.ietf.org/rfc/rfc2798.txt>
- <http://www.ietf.org/rfc/rfc2445.txt>
- ISO8601 の日時フォーマット

ISO 8601 タイムゾーンの一覧は、付録 A 「ISO 8601 タイムゾーン」を参照してください。

## 内容の紹介

このマニュアルには、次の章および付録が含まれています。

- 本書について (この章)
- 第 1 章「概要」
- 第 2 章「オブジェクトクラス」
- 第 3 章「属性」
- 付録 A 「一般的な情報」
- 用語集

# 表記上の規則

## モノスペースフォント

モノスペースフォント (Monospaced font) は、コンピュータ画面に表示されるテキスト、またはユーザが入力するテキストを表します。また、ファイル名、識別名、関数および使用例を表す場合にも使用されます。

## 太字のモノスペースフォント

太字のモノスペースフォント (**bold monospaced font**) は、コード例中のユーザが入力するテキストを表します。

## 斜体フォント

斜体フォントは、書籍のタイトル、およびお使いのメッセージングサーバに固有な情報を使って入力するテキストを表します。サーバのパスや名前、およびアカウント ID などに使用します。

たとえば、パス参照は、以下のような形式で表記されています。

```
server-root/msg-instance/...
```

この場合、「server-root」はサーバをインストールするディレクトリパスを表し、「msg-*instance*」はインストールするときに使用するサーバインスタンス (または、デフォルトのホストマシン名) を表します。たとえば、サーバを /usr/iplanet/server5 ディレクトリにインストールし、tango というサーバインスタンスを使用する場合、実際のパスは次のようになります。

```
/usr/iplanet/server5/msg-tango/
```

オンラインでこのマニュアルを入手するには

## オンラインでこのマニュアルを入手するには

『iPlanet Messaging and Collaboration スキーマリファレンスマニュアル』は、PDF および HTML 形式を、オンラインで参照できます。

このマニュアルまたはほかの iPlanet Messaging Server 関連マニュアルを参照する場合は、次の URL をご利用ください。

<http://docs.ipplanet.com/docs/manuals/messaging.html>

また、このマニュアルおよびほかの iPlanet Calendar Server 関連マニュアルを参照する場合は、次の URL をご利用ください。

<http://docs.ipplanet.com/docs/manuals/calendar.html>

## 概要

iPlanet Messaging and Collaboration のオブジェクトクラスの基本データモデルは、コアオブジェクトクラス (*core object classes*) により生成される LDAP エントリの「タイプ (*types*)」(例えば、*user, group, domain*) を「共有クラス (*shared classes*)」(1 つ以上のオブジェクトクラスで共有できる) と「サービス個有のオブジェクトクラス (*service-specific object classes*)」(特定のタイプのサーバに個有のクラス) を使ってオーバレイすることにより拡張したものです。表 1-1 で、このような関係を説明します。

表 1-1 エントリのタイプと対応するオブジェクトクラス

タイプ	コアクラス	共有クラス	Messaging Server のクラス	Calendar Server のクラス
DC ツリーのドメイン	domain、inetDomain	なし	mailDomain、 nsManagedDomain	icsCalendarDomain
Org ツリーのドメイン	organization	なし	nsManagedDomain	icsCalendarDomain
ユーザ	person、inetUser、 organizational Person、inetOrg Person	ipUser、 userPresence Profile	inetMailUser、 inetLocalMailRecipient、 nsManagedPerson	icsCalendarUser
グループ	groupOfUnique Names	なし	inetMailGroup、 inetLocalRecipient、 inetMailGroupManagement、 nsManagedMailList	なし
ファミリーアカウント	inetManagedGroup	なし	nsManagedDept	なし
リソース	inetResource	なし	なし	icsCalendarResource inetResource

RFC 2798 とインターネット標準については、次の URL を参照してください。

<http://www.imc.org/rfc.html>



# オブジェクトクラス

この章では、iPlanet Messaging and Collaboration 製品の LDAP オブジェクトクラスについて説明します。説明するオブジェクトは、アルファベット順に並べてあります。

## オブジェクトクラスのリスト

この章では、iPlanet Messaging and Collaboration 製品に関連する次のオブジェクトクラスについて説明します。

- 「domain」 17 ページ
- 「groupOfUniqueNames」 18 ページ
- 「icsCalendarResource」 18 ページ
- 「icsCalendarUser」 19 ページ
- 「inetDomain」 20 ページ
- 「inetDomainAlias」 21 ページ
- 「inetDomainAuthInfo」 21 ページ
- 「inetDomainOrg」 22 ページ
- 「inetLocalMailRecipient」 23 ページ
- 「inetMailAdministrator」 24 ページ
- 「inetMailGroup」 24 ページ
- 「inetMailGroupManagement」 25 ページ
- 「inetMailUser」 26 ページ
- 「inetManagedGroup」 27 ページ
- 「inetResource」 27 ページ

- 「inetSubscriber」 28 ページ
- 「inetUser」 29 ページ
- 「ipUser」 29 ページ
- 「mailDomain」 30 ページ
- 「msgVanityDomainUser」 31 ページ
- 「nsManagedDept」 32 ページ
- 「nsManagedDeptAdminGroup」 32 ページ
- 「nsManagedDomain」 33 ページ
- 「nsManagedFamilyGroup」 34 ページ
- 「nsManagedISP」 34 ページ
- 「nsManagedMailList」 35 ページ
- 「nsManagedOrgUnit」 35 ページ
- 「nsManagedPerson」 36 ページ
- 「nsUniquenessDomain」 37 ページ
- 「pab」 37 ページ
- 「pabGroup」 38 ページ
- 「pabPerson」 39 ページ
- 「userPresenceProfile」 40 ページ



# オブジェクトクラス

## domain

サポートするソフトウェア

iPlanet Messaging Server 5.0, iPlanet Calendar Server 5.1

定義

DNS ドメインを表すエントリを定義するためのオブジェクトクラス。

このクラスは、組織、組織単位またはオブジェクトクラスが定義されている他のオブジェクトのタイプに対応しないエントリでのみ使用します。

このクラスは、Messaging 製品と Calendar 製品両方のコアクラスです。

上位クラス

top

オブジェクトクラスのタイプ

structural

OID

0.9.2342.19200300.100.4.13

必須の属性

dc, objectClass

使用可能な属性

associatedName, businessCategory, description, destinationIndicator, fax (facsimileTelephoneNumber), internationalIsdnNumber, localityName, manager, o (organizationName), physicalDeliveryOfficeName, postOfficeBox, postalAddress, postalCode, preferredDeliveryMethod, registeredAddress, searchGuide, seeAlso, st, street, telephoneNumber, telexTerminalIdentifier, telexNumber, userPassword, x121Address

## groupOfUniqueNames

サポートするソフトウェア  
iPlanet Messaging Server 5.0

**定義**  
一意名のグループに対応するエントリを定義します。

**上位クラス**  
top

**オブジェクトクラスのタイプ**

**OID**  
2.5.6.17

**必須の属性**  
cn, objectClass

**使用可能な属性**  
businessCategory, description, o, ou, owner, seeAlso, uniqueMember

## icsCalendarResource

サポートするソフトウェア  
iPlanet Calendar Server 5.1

**定義**  
カレンダーのリソースを指定します。inetResource とともに使用する必要があります。

**上位クラス**  
inetResource

**オブジェクトクラスのタイプ**  
auxiliary

**OID**  
2.16.840.1.113730.3.2.143

**必須の属性**

なし

**使用可能な属性**

cn, facsimileTelephoneNumber, icsTimezone, postalAddress, uid

## icsCalendarUser

**サポートするソフトウェア**

iPlanet Calendar Server 5.1

**定義**

カレンダーのユーザを指定します。

**上位クラス****オブジェクトクラスのタイプ****OID**

2.16.840.1.113730.3.2.141

**必須の属性**

なし

**使用可能な属性**

cn, givenName, icsDefaultSet, icsExtendedUserPrefs, icsFirstDay, icsSet, icsSubscribed, icsTimezone, mail, preferredLanguage, sn, uid, userPassword

## inetAdmin

**サポートするソフトウェア**

iPlanet Messaging Server 5.0

**定義**

管理者ユーザまたは管理者グループを識別します。

#### 上位クラス

top

#### オブジェクトクラスのタイプ

auxiliary

#### OID

2.16.840.1.113730.3.2.112

#### 必須の属性

objectClass

#### 使用可能な属性

memberOf, adminRole

## inetDomain

#### サポートするソフトウェア

iPlanet Messaging Server 5.0

#### 定義

電子メール、Radius、カレンダーなどの、Nortel および Sun/Netscape Alliance 相互運用仕様に準拠したサービスのための補助的なクラス。domain によって作成されるベースエントリを拡張するために使用されます。このオブジェクトクラスは、ホストドメインのアカウントを表し、ホスト組織のメールサービスに適したホストドメインノードを作成するために、mailDomain と、オプションの inetDomainAuthInfo とともに使用されます。このオブジェクトクラスは、ホストドメインのすべてのエントリに使用する必要があります。

#### 上位クラス

top

#### オブジェクトクラスのタイプ

auxiliary

#### OID

2.16.840.1.113730.3.2.129

#### 必須の属性

なし

**使用可能な属性**

inetDomainBaseDN, inetDomainStatus

## inetDomainAlias

**サポートするソフトウェア**

iPlanet Messaging Server 5.0

**定義**

ディレクトリ内にドメインのエイリアスエントリを作成する **structural** クラス。エントリは、ほかのホストドメインオブジェクトを指すドメインコンポーネントツリー内に作成することができます。このようなドメインエイリアスエントリでは、このオブジェクトクラスを使用する必要があります。親のオブジェクトクラスである **alias** (RFC 2256 を参照) から継承した属性の **aliasedObjectName** には、ノードがエイリアスである、LDAP エントリの DN が保持されます。

**上位クラス**

alias

**オブジェクトクラスのタイプ**

structural

**OID**

2.16.840.1.113730.3.2.131

**必須の属性**

dc

**使用可能な属性**

なし

## inetDomainAuthInfo

**サポートするソフトウェア**

iPlanet Messaging Server 5.0

**定義**

複数のホストドメインが同じ組織サブツリーを参照する場合は、検索フィルタ、ドメイン証明マップ、および標準ドメイン名で domain エントリを拡張するために、このオブジェクトクラスが使用されます。

**上位クラス**

top

**オブジェクトクラスのタイプ**

auxiliary

**OID**

2.16.840.1.113730.3.2.133

**必須の属性**

なし

**使用可能な属性**

domainUidSeparator, inetDomainSearchFilter, inetDomainCertMap, inetCanonicalDomainName

## inetDomainOrg

**サポートするソフトウェア**

iPlanet Messaging Server 5.0

**定義**

管理ドメイン組織をサポートするための補助的なクラス。このオブジェクトクラスは、ドメイン組織を定義するために、**structural** クラスの **organization** とともに使用されます。ドメイン組織は通常、カスタマのサブツリーの下に階層を導入し、そのドメイン組織に管理者を指名して、作成されます。たとえば、**siroe.com** には、DN が **o=Siroe Inc.,o=ISP** のカスタマのサブツリーがあります。親ツリーの下に下位組織を作成し、その下位組織に管理者セットを指定するには、**organization** および **inetDomainOrg** オブジェクトクラスを使用して、ドメイン組織ノードを作成します。

**上位クラス**

top

**オブジェクトクラスのタイプ**

auxiliary

**OID**

2.16.840.1.113730.3.2.132

**必須の属性**

なし

**使用可能な属性**

domOrgMaxUsers, domOrgNumUsers

## inetLocalMailRecipient

**サポートするソフトウェア**

iPlanet Messaging Server 5.0

**定義**

ローカル(組織内)の電子メールの受取人を表す方法として、LDAP エントリを示すための情報を格納します。受取人の電子メールアドレス(複数も可)を指定し、その受取人に関するルーティング情報を提供することが目的です。これは、一企業内のみにおける非公開な RFC 822 ベースの電子メールのルーティングで SMTP メッセージ転送エージェント(MTA)をサポートすることを意図しており、一般のインターネット上のメールのルーティング処理には使用されません。

**上位クラス**

top

**オブジェクトクラスのタイプ**

auxiliary

**OID**

2.16.840.1.113.730.3.2.147

**必須の属性**

なし

**使用可能な属性**

mail, mailAlternateAddress, mailHost, mailRoutingAddress

## inetMailAdministrator

サポートするソフトウェア  
iPlanet Messaging Server 5.0

### 定義

`groupOfUniqueNames` で定義された LDAP グループを、このオブジェクトクラスでオーバーレイすることができます。属性 `uniqueMember` 内でリストされているグループのメンバーがこのオブジェクトクラスでオーバーレイされ、そのグループのエントリが存在するのと同じドメイン内のすべてのユーザに対する IMAP proxyauth (プロキシ認証) の権利を取得するため、`mailAdminRole` に `storeAdmin` が設定されます。

### 上位クラス

top

### オブジェクトクラスのタイプ

auxiliary

### OID

2.16.840.1.113730.3.2.148

### 必須の属性

なし

### 使用可能な属性

`mailAdminRole`

## inetMailGroup

サポートするソフトウェア  
iPlanet Messaging Server 5.0

### 定義

メール受取人のグループを定義するために、`groupOfUniqueNames` によって作成されたベースエントリを拡張することに使用されます。`inetMailGroup` は、メーリングリストの属性を格納するために使用されます。`Delegated Administrator` に管理されるメーリングリスト用に、`inetLocalMailRecipient` および `inetMailGroupManagement` とともに使用されます。



## 上位クラス

top

## オブジェクトクラスのタイプ

auxiliary

## OID

1.3.6.1.4.1.42.2.27.2.2.2

## 必須の属性

なし

## 使用可能な属性

dataSource, inetMailGroupStatus, mailConversionTag, mailDeferProcessing, mailDeliveryFileURL, mailDeliveryOption, mailEquivalentAddress, mailMsgMaxBlocks, mailProgramDeliveryInfo, mgrpAddHeader, mgrpAllowedBroadcaster, mgrpAllowedDomain, mgrpAuthPassword, mgrpBroadcasterPolicy, mgrpDeliverTo, mgrpDisallowedBroadcaster, mgrpDisallowedDomain, mgrpErrorsTo, mgrpModerator, mgrpMsgMaxSize, mgrpMsgPrefixText, mgrpMsgRejectAction, mgrpMsgRejectText, mgrpMsgSuffixText, mgrpNoDuplicateChecks, mgrpRemoveHeader, mgrpRequestTo, mgrpRFC822MailMember, preferredLanguage

# inetMailGroupManagement

## サポートするソフトウェア

iPlanet Messaging Server 5.0

## 定義

groupOfUniqueNames によって作成されるベースエントリを拡張するために使用されます。inetMailGroupManagement は、Delegated Administrator for Messaging を使用した配布リストを管理する属性を格納するために使用されます。このオブジェクトクラスは、inetMailGroup および inetLocalMailRecipient とともに使用されます。このオブジェクトクラス内の属性は、メッセージサーバの MTA またはメッセージアクセス / メッセージストアの操作には影響を与えません。

## 上位クラス

top

## オブジェクトクラスのタイプ

auxiliary

## OID

2.16.840.1.113730.3.2.149

## 必須の属性

なし

## 使用可能な属性

mgmanAllowSubscribe, mgmanDenySubscribe, mgmanGoodbyeText,  
mgmanHidden, mgmanIntroText, mgmanJoinability,  
mgmanMemberVisibility, mgmanVisibility, multiLineDescription

# inetMailUser

## サポートするソフトウェア

iPlanet Messaging Server 5.0

## 定義

メッセージングサービスのユーザを定義するために、inetOrgPerson によって作成されたベースエントリを拡張することに使用されます。このオブジェクトクラスはメールアドレスを表し、inetUser および inetLocalMailRecipient とともに使用されます。オプションで、一般的なアカウント管理を目的として、inetSubscriber を使用することもできます。

## 上位クラス

top

## オブジェクトクラスのタイプ

auxiliary

## OID

2.16.840.1.113730.3.2.146

## 必須の属性

なし

## 使用可能な属性

cn, dataSource, icsQuota, mailAllowedServiceAccess,  
mailAutoReplyMode, mailAutoReplySubject, mailAutoReplyTimeOut,  
mailAutoReplyText, mailAutoReplyTextInternal, mailConversionTag,  
mailDeferProcessing, mailDeliveryOption, mailEquivalentAddress,

```
mailForwardingAddress, mailMessageStore, mailMsgMaxBlocks,  
mailMsgQuota, mailProgramDeliveryInfo, mailQuota,  
mailSieveRuleSource, mailSMTPSubmitChannel, mailUserStatus,  
nswmExtendedUserPrefs
```

## inetManagedGroup

サポートするソフトウェア  
iPlanet Messaging Server 5.0

### 定義

管理グループを定義するために使用されます。管理グループが部署またはファミリーグループの場合、使用する構造クラスは `top` ですが、このオブジェクトクラスを使用して `groupOfUniqueNames` から静的に定義されたグループを作成し、それを管理グループにすることができます。

### 上位クラス

`top`

### オブジェクトクラスのタイプ

`auxiliary`

### OID

2.16.840.1.113730.3.2.137

### 必須の属性

`commonname` (cn は共通名のエイリアス)

### 使用可能な属性

```
description, mnggrpAdditionPolicy, mnggrpBillableUser,  
mnggrpCurrentUsers, mnggrpDeletionPolicy, mnggrpMailQuota,  
mnggrpMaxUsers, mnggrpStatus, mnggrpUserClassOfServices,  
nsdaModifiableBy, owner
```

## inetResource

サポートするソフトウェア  
iPlanet Calendar Server 5.1

### 定義

リソースを指定します。

### 上位クラス

### オブジェクトクラスのタイプ

#### OID

2.16.840.1.113730.3.2.142

#### 必須の属性

cn

#### 使用可能な属性

facsimileTelephoneNumber, inetCOS, inetResourceStatus, mail, postalAddress, telephoneNumber

## inetSubscriber

### サポートするソフトウェア

iPlanet Messaging Server 5.0

### 定義

ユーザを定義するために、inetOrgPersonによって作成されたベースエントリを拡張することに使用されます。このオブジェクトクラスはサブスクライバのアカウントを表し、メールアカウントを作成するために、inetUser、inetMailUser、およびipUserとともに使用することもできます。

### 上位クラス

top

### オブジェクトクラスのタイプ

auxiliary

#### OID

2.16.840.1.113730.3.2.134

#### 必須の属性

なし

**使用可能な属性**

inetSubscriberAccountId, inetSubscriberChallenge,  
inetSubscriberResponse

## inetUser

**サポートするソフトウェア**

iPlanet Messaging Server 5.0

**定義**

inetOrgPerson によって作成されるベースエントリを拡張するために使用されます。このオブジェクトクラスはユーザアカウントを表し、メールアカウントを作成するために、inetMailUser および ipUser とともに使用されます。カレンダーのアカウントを作成するために、icsUser とともに使用することもできます。

**上位クラス**

top

**オブジェクトクラスのタイプ**

auxiliary

**OID**

2.16.840.1.113730.3.2.130

**必須の属性**

なし

**使用可能な属性**

inetUserHttpURL, inetUserStatus, memberOf, uid, userPassword

## ipUser

**サポートするソフトウェア**

iPlanet Messaging Server 5.0

**定義**

メールやカレンダーなどのサービス用のオブジェクトクラス。inetOrgPerson および inetUser によって作成されるベースエントリを拡張するために使用されます。このオブジェクトクラスで、個人のアドレスブックのコンテナとサービスクラス指示子への参照を保持します。

**上位クラス**

top

**オブジェクトクラスのタイプ**

auxiliary

**OID**

2.16.840.1.113730.3.2.135

**必須の属性**

なし

**使用可能な属性**

inetCOS, memberOfManagedGroup, maxPabEntries, pabURI

## mailDomain

**サポートするソフトウェア**

iPlanet Messaging Server 5.0

**定義**

ホストドメイン用のメッセージングサービスを有効にするために、domain および inetDomain によって作成されるベースエントリを拡張するために使用される補助的なクラス。メッセージングサービスへのアクセス権付きの、ホストドメインのアカウントを表します。このオブジェクトクラスは、ホストドメインのすべてのエントリに使用する必要があります。

**上位クラス**

top

**オブジェクトクラスのタイプ**

auxiliary

**OID**

2.16.840.1.113730.3.2.151

**必須の属性**

なし

**使用可能な属性**

```
mailAccessProxyPreAuth, mailAccessProxyReplay,  
mailClientAttachmentQuota, mailDomainAllowedServiceAccess,  
mailDomainConversionTag, mailDomainCatchallAddress,  
mailDomainMsgMaxBlocks, mailDomainMsgQuota, mailDomainReportAddress,  
mailDomainSieveRuleSource, mailDomainStatus,  
mailDomainWelcomeMessage, mailQuota, mailRoutingHosts,  
mailRoutingSmartHost, preferredLanguage, preferredMailHost,  
preferredMailMessageStore
```

## msgVanityDomainUser

**サポートするソフトウェア**

iPlanet Messaging Server 5.0

**定義**

メッセージ用バニティドメインの概念をサポートする補助的なクラス。バニティドメインをユーザに割り当てることを目的に、ベースメールユーザエントリを拡張するために使用されます。

**上位クラス**

top

**オブジェクトクラスのタイプ**

auxiliary

**OID**

2.16.840.1.113730.3.2.150

**必須の属性**

なし

**使用可能な属性**

msgVanityDomain

## nsManagedDept

サポートするソフトウェア  
iPlanet Messaging Server 5.0

### 定義

管理者以外のグループについての情報を格納します。管理者以外のすべてのグループは、iPlanet Delegated Administrator に管理されるように、このオブジェクトクラスを含む必要があります。

上位クラス  
groupOfUniqueNames

オブジェクトクラスのタイプ

OID  
2.16.840.1.113730.3.2.88

必須の属性  
objectClass

使用可能な属性  
nsMaxDepts, nsMaxUsers, nsNumDepts, nsNumUsers, nsdaModifiableBy,  
owner

## nsManagedDeptAdminGroup

サポートするソフトウェア  
iPlanet Messaging Server 5.0

### 定義

管理者グループについての情報を格納します。

上位クラス  
top

オブジェクトクラスのタイプ



OID  
2.16.840.1.113730.3.2.111

必須の属性  
objectClass

使用可能な属性  
なし

## nsManagedDomain

サポートするソフトウェア  
iPlanet Messaging Server 5.0

定義  
組織についての情報を格納します。すべての組織は、iPlanet Delegated Administrator に管理されるように、このオブジェクトクラスを含む必要があります。

上位クラス  
top

オブジェクトクラスのタイプ

OID  
2.16.840.1.113730.3.2.86

必須の属性  
objectClass

使用可能な属性  
nsDefaultMaxDeptSize, nsMaxDepts, nsMaxDomains, nsMaxMailingLists,  
nsMaxUsers, nsNumDepts, nsNumDomains, nsNumMailLists, nsNumUsers,  
nsdaModifiableBy, owner

## nsManagedFamilyGroup

サポートするソフトウェア  
iPlanet Messaging Server 5.0

### 定義

委任管理者に管理されるファミリーグループについての情報を格納します。ファミリーグループは「グループ」と似ていますが、多少違います。このオブジェクトクラスは主として、Sun Internet Message Service (SIMS) 4.0 を使用して Delegated Administrator の導入をサポートするために追加されました。

上位クラス  
top

OID  
2.16.840.1.113730.3.2.89

必須の属性  
objectClass

使用可能な属性  
nsMaxUsers, nsNumUsers, nsdaModifiableBy, owner

## nsManagedISP

サポートするソフトウェア  
iPlanet Messaging Server 5.0

### 定義

このオブジェクトの下に作成できるサブ組織の数を追跡します。

上位クラス  
top

OID  
2.16.840.1.113730.3.2.85

必須の属性  
objectClass

使用可能な属性

nsNumDomains

## nsManagedMailList

サポートするソフトウェア

iPlanet Messaging Server 5.0

定義

有効なユーザによって作成されたメーリングリストについての情報を格納します。メーリングリストは、**Delegated Administrator** に管理されるように、このオブジェクトクラスを含む必要があります。

上位クラス

top

オブジェクトクラスのタイプ

OID

2.16.840.1.113730.3.2.90

必須の属性

objectClass

使用可能な属性

nsMaxUsers, nsNumUsers, nsdaModifiableBy, owner

## nsManagedOrgUnit

サポートするソフトウェア

iPlanet Messaging Server 5.0

定義

管理組織単位についての情報を格納します。

上位クラス

top

nsManagedPerson

OID

2.16.840.1.113730.3.2.87

必須の属性

objectClass

使用可能な属性

nsdaModifiableBy, owner

## nsManagedPerson

サポートするソフトウェア

iPlanet Messaging Server 5.0

定義

ユーザに関する情報を格納します。ユーザエントリは、Delegated Administrator に管理されるように、このオブジェクトクラスを含む必要があります。

上位クラス

top

オブジェクトクラスのタイプ

OID

2.16.840.1.113730.3.2.91

必須の属性

objectClass

使用可能な属性

memberOf, nsdaCapability, nsDefaultMaxDeptSize, nsdaModifiableBy, owner

# nsUniquenessDomain

サポートするソフトウェア  
iPlanet Messaging Server 5.0

## 定義

このオブジェクトクラスは、ユーザ ID (uid) の固有性が要求されるサブツリーを識別するためにマーカーとして使用されます。ユーザ ID (uid) の固有性に関するプラグインは、このオブジェクトクラスを使用して、固有性が要求される範囲または影響圏を決定します。

## 上位クラス

top

## OID

2.16.840.1.113730.3.2.115

## 必須の属性

objectClass

## 使用可能な属性

なし

# pab

サポートするソフトウェア  
iPlanet Messaging Server 5.0

## 定義

使用されるデータモデルは、次のとおりです。

pabPerson は、個人アドレスブック内のユーザエントリです。

pabGroup は、グループエントリであり、個人用配布リストに対応します。たとえば、pabGroup の「pab-notes」には、pabPersons の「micky」と「john」が含まれている可能性があります。

pab は、ゼロまたは 1 つ以上の pabPerson エントリとゼロまたは 1 つ以上の pabGroup エントリを含むアドレスブックです。これは、最上位の論理コンテナです。pab には、pabPerson または pabGroup、あるいはその両方が含まれている可能性があります。pabPerson は、ゼロまたは 1 つ以上の pabGroup とゼロまたは 1 つ以上の pab に属している可能性があります。

pabPerson は、ゼロまたは 1 つ以上の pabGroup エントリに属している可能性があります。このリンクは、memberOfPABGroup によって確立されます。これは、pabPerson が属している pabGroup の DN を保持している複数の値を持つ属性です。また、pabPerson は、多くの個人アドレスブックに所属している可能性もあります。このリンクは、memberOfPAB 属性の値としてリストされた pab の DN を持つことによって確立されます。

すべてのユーザとグループは、「All」と呼ばれるデフォルトの個人アドレスブックに所属します。

#### 上位クラス

top

#### オブジェクトクラスのタイプ

structural

#### OID

2.16.840.1.113730.3.2.140

#### 必須の属性

cn

#### 使用可能な属性

description, un

## pabGroup

#### サポートするソフトウェア

iPlanet Messaging Server 5.0

#### 定義

pabPerson は、個人アドレスブック内のユーザエントリです。

pabGroup は、グループエントリであり、個人用配布リストに対応します。たとえば、pabGroup の「pab-notes」には、pabPersons の「micky」と「john」が含まれている可能性があります。

#### 上位クラス

top

#### オブジェクトクラスのタイプ

structural

OID  
2.16.840.1.113730.3.2.139

必須の属性  
cn

使用可能な属性  
description, memberOfPABGroup, nickName, un

## pabPerson

サポートするソフトウェア  
iPlanet Messaging Server 5.0

定義  
個人アドレスブック内の基本的なエント리는、pabPerson オブジェクトクラスを使用して作成されます。これは structural オブジェクトクラスであり、inetOrgPerson から継承されます。

上位クラス  
inetOrgPerson

オブジェクトクラスのタイプ  
structural

OID  
2.16.840.1.113730.3.2.138

必須の属性  
なし

使用可能な属性  
calCalURI, calFBURL, co, dateOfBirth, mailAlternateAddress, memberOfPAB, memberOfPABGroup, nickName, o, organizationName, ou, un

## userPresenceProfile

サポートするソフトウェア  
iPlanet Messaging Server 5.0

### 定義

ユーザの出勤情報を格納するために使用されます。現在、`vacationStartTime` と `vacationEndTime` の 2 つの属性だけが定義されています。

### 上位クラス

top

### オブジェクトクラスのタイプ

auxiliary

### OID

2.16.840.1.113730.3.2.136

### 必須の属性

なし

### 使用可能な属性

`vacationEndDate`, `vacationStartDate`



## 属性

この章では、iPlanet Messaging and Collaboration 製品の LDAP オブジェクトクラスに必須の、または使用可能な属性について説明します。属性は、アルファベット順に並べてあります。

## 属性のリスト

この章では、iPlanet Messaging and Collaboration 製品に関連する次の属性について説明します。

- 「adminRole」(47 ページ)
- 「businessCategory」(47 ページ)
- 「calCalURI」(48 ページ)
- 「calFBURL」(48 ページ)
- 「cn」(49 ページ)
- 「co」(50 ページ)
- 「commonName (「cn」を参照)」(50 ページ)
- 「countryName (「co」を参照)」(50 ページ)
- 「dataSource」(51 ページ)
- 「dateOfBirth」(51 ページ)
- 「dc」(52 ページ)
- 「description」(52 ページ)
- 「domainUidSeparator」(53 ページ)
- 「domOrgMaxUsers」(54 ページ)

- 「domOrgNumUsers」(54 ページ)
- 「facsimileTelephoneNumber」(55 ページ)
- 「givenName」(55 ページ)
- 「icsAlias」(56 ページ)
- 「icsCalendar」(56 ページ)
- 「icsCapacity」(57 ページ)
- 「icsContact」(57 ページ)
- 「icsDefaultAccess」(58 ページ)
- 「icsDefaultSet」(58 ページ)
- 「icsExtended」(59 ページ)
- 「icsExtendedResourcePrefs」(59 ページ)
- 「icsExtendedUserPrefs」(60 ページ)
- 「icsFirstDay」(63 ページ)
- 「icsFreeBusy」(64 ページ)
- 「icsGeo」(64 ページ)
- 「icsPartition」(65 ページ)
- 「icsPreferredHost」(65 ページ)
- 「icsQuota」(66 ページ)
- 「icsSet」(66 ページ)
- 「icsStatus」(68 ページ)
- 「icsSubscribed」(68 ページ)
- 「icsTimezone」(69 ページ)
- 「inetCanonicalDomainName」(69 ページ)
- 「inetCOS」(70 ページ)
- 「inetDomainBaseDN」(71 ページ)
- 「inetDomainCertMap」(71 ページ)
- 「inetDomainSearchFilter」(72 ページ)
- 「inetDomainStatus」(73 ページ)
- 「inetMailGroupStatus」(74 ページ)
- 「inetResourceStatus」(75 ページ)

- 「inetSubscriberAccountId」(75 ページ)
- 「inetSubscriberChallenge」(76 ページ)
- 「inetSubscriberResponse」(76 ページ)
- 「inetUserHttpURL」(77 ページ)
- 「inetUserStatus」(78 ページ)
- 「mail」(79 ページ)
- 「mailAccessProxyPreAuth」(79 ページ)
- 「mailAccessProxyReplay」(80 ページ)
- 「mailAdminRole」(81 ページ)
- 「mailAllowedServiceAccess」(82 ページ)
- 「mailAlternateAddress」(83 ページ)
- 「mailAutoReplyMode」(83 ページ)
- 「mailAutoReplySubject」(84 ページ)
- 「mailAutoReplyText」(85 ページ)
- 「mailAutoReplyTextInternal」(85 ページ)
- 「mailAutoReplyTimeOut」(86 ページ)
- 「mailClientAttachmentQuota」(86 ページ)
- 「mailConversionTag」(87 ページ)
- 「mailDeferProcessing」(87 ページ)
- 「mailDeliveryFileURL」(88 ページ)
- 「mailDeliveryOption」(89 ページ)
- 「mailDomainAllowedServiceAccess」(90 ページ)
- 「mailDomainCatchallAddress」(91 ページ)
- 「mailDomainConversionTag」(91 ページ)
- 「mailDomainMsgMaxBlocks」(92 ページ)
- 「mailDomainMsgQuota」(92 ページ)
- 「mailDomainReportAddress」(93 ページ)
- 「mailDomainSieveRuleSource」(94 ページ)
- 「mailDomainStatus」(94 ページ)
- 「mailDomainWelcomeMessage」(96 ページ)

- 「mailEquivalentAddress」(96 ページ)
- 「mailForwardingAddress」(97 ページ)
- 「mailHost」(98 ページ)
- 「mailMessageStore」(98 ページ)
- 「mailMsgMaxBlocks」(99 ページ)
- 「mailMsgQuota」(99 ページ)
- 「mailProgramDeliveryInfo」(100 ページ)
- 「mailQuota」(101 ページ)
- 「mailRejectText」(101 ページ)
- 「mailRoutingAddress」(102 ページ)
- 「mailRoutingHosts」(102 ページ)
- 「mailRoutingSmartHost」(103 ページ)
- 「mailSieveRuleSource」(104 ページ)
- 「mailSMTPSubmitChannel」(105 ページ)
- 「mailUserStatus」(106 ページ)
- 「maxPabEntries」(107 ページ)
- 「memberOf」(108 ページ)
- 「memberOfManagedGroup」(108 ページ)
- 「memberOfPAB」(109 ページ)
- 「memberOfPABGroup」(109 ページ)
- 「mgmanAllowSubscribe」(110 ページ)
- 「mgmanDenySubscribe」(111 ページ)
- 「mgmanGoodbyeText」(111 ページ)
- 「mgmanHidden」(112 ページ)
- 「mgmanIntroText」(112 ページ)
- 「mgmanJoinability」(113 ページ)
- 「mgmanMemberVisibility」(114 ページ)
- 「mgmanVisibility」(115 ページ)
- 「mgrpAddHeader」(115 ページ)
- 「mgrpAllowedBroadcaster」(116 ページ)

- 「mgrpAllowedDomain」(116 ページ)
- 「mgrpAuthPassword」(117 ページ)
- 「mgrpBroadcasterPolicy」(118 ページ)
- 「mgrpDeliverTo」(118 ページ)
- 「mgrpDisallowedBroadcaster」(119 ページ)
- 「mgrpDisallowedDomain」(120 ページ)
- 「mgrpErrorsTo」(121 ページ)
- 「mgrpModerator」(121 ページ)
- 「mgrpMsgMaxSize」(122 ページ)
- 「mgrpMsgPrefixText」(123 ページ)
- 「mgrpMsgRejectAction」(123 ページ)
- 「mgrpMsgRejectText」(124 ページ)
- 「mgrpMsgSuffixText」(124 ページ)
- 「mgrpNoDuplicateChecks」(125 ページ)
- 「mgrpRemoveHeader」(126 ページ)
- 「mgrpRequestTo」(126 ページ)
- 「mgrpRFC822MailMember」(127 ページ)
- 「mnggrpAdditionPolicy」(128 ページ)
- 「mnggrpBillableUser」(128 ページ)
- 「mnggrpCurrentUsers」(129 ページ)
- 「mnggrpDeletionPolicy」(129 ページ)
- 「mnggrpMailQuota」(130 ページ)
- 「mnggrpMaxUsers」(130 ページ)
- 「mnggrpStatus」(131 ページ)
- 「mnggrpUserClassOfServices」(131 ページ)
- 「msgVanityDomain」(132 ページ)
- 「multiLineDescription」(132 ページ)
- 「nickName」(133 ページ)
- 「nsDefaultMaxDeptSize」(133 ページ)
- 「nsMaxDepts」(134 ページ)

- 「nsMaxDomains」(134 ページ)
- 「nsMaxMailingLists」(135 ページ)
- 「nsMaxUsers」(135 ページ)
- 「nsNumDepts」(136 ページ)
- 「nsNumDomains」(136 ページ)
- 「nsNumMailLists」(137 ページ)
- 「nsNumUsers」(137 ページ)
- 「nsdaCapability」(138 ページ)
- 「nsDefaultMaxDeptSize」(133 ページ)
- 「nsdaModifiableBy」(139 ページ)
- 「nswmExtendedUserPrefs」(140 ページ)
- 「o」(140 ページ)
- 「objectClass」(141 ページ)
- 「organizationName」(141 ページ)
- 「organizationUnitName ( 「ou」 を参照 )」(142 ページ)
- 「ou」(142 ページ)
- 「owner」(142 ページ)
- 「pabURI」(143 ページ)
- 「postalAddress」(144 ページ)
- 「preferredLanguage」(145 ページ)
- 「preferredMailHost」(145 ページ)
- 「preferredMailMessageStore」(146 ページ)
- 「seeAlso」(146 ページ)
- 「sn」(147 ページ)
- 「telephoneNumber」(147 ページ)
- 「uid」(148 ページ)
- 「un」(148 ページ)
- 「uniqueMember」(149 ページ)
- 「userid ( 「uid」 を参照 )」(150 ページ)
- 「userPassword」(150 ページ)

- 「vacationEndDate」(150 ページ)
- 「vacationStartDate」(151 ページ)

## 属性

### adminRole

初出

iPlanet Messaging Server 5.0

構文

cis

オブジェクトクラス

inetAdmin

定義

この管理者エントリについての管理者の役割を指定します。

例

OID

2.16.840.1.113730.3.1.601

### businessCategory

初出

iPlanet Messaging Server 5.0

構文

cis、single-valued

オブジェクトクラス

groupOfUniqueNames

#### 定義

このエントリが関わるビジネスのタイプを識別します。これは、会社の部レベルのよう  
に大まかな一般化された値にする必要があります。

#### 例

`businessCategory = Engineering`

#### OID

2.5.4.15

## calCalURI

#### 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

#### 構文

`cis`、`single-valued`

#### オブジェクトクラス

`pabPerson`

#### 定義

ユーザのデフォルトカレンダー全体への URI を含みます。詳細は、RFC 2739 を参照し  
てください。

#### 例

実装された iPlanet Calendar Server のバージョンに応じて変化します。詳細は、RFC  
2739 を参照してください。

#### OID

1.2.840.113556.1.4.478

## calFBURL

#### 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

#### 構文

`cis`、`single-valued`



## オブジェクトクラス

pabPerson

### 定義

ユーザのデフォルトのビジータイムデータへの URL。詳細は、RFC 2739 を参照してください。

### 例

実装された iPlanet Calendar Server のバージョンに応じて変化します。詳細は、RFC 2739 を参照してください。

### OID

1.2.840.113556.1.4.479

## cn

### 初出

iPlanet Calendar Server 5.1

### 構文

cis、single-valued

## オブジェクトクラス

icsCalendarResource、icsCalendarUser、inetResource

### 定義

ユーザの場合、その人の氏名。リソースの場合、一意の識別子。どちらの場合も、スペースと特殊文字を含んでもかまいません。これは、commonName の省略形です。

### 例

ユーザの場合 : cn = John Doe リソースの場合 : cn = Conference Room #3

または

commonName = John Doe、commonName = Conference Room #3

### OID

2.5.4.3

co

## CO

初出  
LDAP

構文  
cis

オブジェクトクラス  
pabPerson

定義  
2文字のコードを使用した国名を含みます。これは、countryNameの省略形です。  
friendlyCountryName属性は、実際の国名を略さず書くために使用されます。

例  
co = IE  
または  
countryName = IE  
friendlyCountryName = Ireland

OID  
2.5.4.4

**commonName (「cn」を参照)**

**countryName (「co」を参照)**

## dataSource

### 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

### 構文

cis、single-valued

### オブジェクトクラス

inetMailUser, inetMailGroup

### 定義

タグまたは識別子を格納するためのテキストフィールド。この値が操作に影響を与えることはありません。

### 例

dataSource=1.0

### OID

2.16.840.1.113730.3.1.779

## dateOfBirth

### 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

### 構文

cis、single-valued

### オブジェクトクラス

pabPerson

### 定義

pabPerson の誕生日。フォーマットは、YYYYMMDD です。

### 例

dateOfBirth=19740404  
(1974 年 4 月 6 日の誕生日)

### OID

2.16.840.1.113730.3.1.779

## dc

### 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

### 構文

cis、single-valued

### オブジェクトクラス

inetDomainAlias

### 定義

ドメインエイリアスエントリのドメインコンポーネント

### 例

ドメインエイリアスエントリの DN が dc=sesta、dc=fr、o=internet の場合、dc の値は sesta です。

### OID

0.9.2342.19200300.100.1.25

## description

### 初出

LDAP

### 構文

cis

### オブジェクトクラス

groupOfUniqueNames, inetManagedGroup, pab, pabGroup

### 定義

人が読むことが可能なオブジェクト記述。対象が人または組織で、役割や仕事の割り当てが含まれることがよくあります。

### 例

description = Quality control inspector

### OID

2.5.4.13

# domainUidSeparator

## 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

## 構文

cis、single-valued

## オブジェクトクラス

inetDomainAuthInfo

## 定義

この属性は、デフォルトのメールボックス (MB) のホームをオーバーライドするために、メッセージングサーバによって使用されます。この属性が存在する場合は、複合したユーザ ID (UID) がこのドメイン内で使用されることを示します。また、この属性で区切り文字を指定します。たとえば、+ が区切り文字の場合、このドメインのメールボックス名は、uid の右端の + を @ で置き換えて取得されます。内部のメールボックス名を UID に対応付ける場合は、メールボックス名内の右端の @ が + で置き換えられます。

UID 区切り文字の @ の置換はメールボックス名を生成するには十分ですが、これはユーザの実際の電子メールアドレスと同じでない場合があります。

---

<b>注</b>	内部メールボックス名のフォーマットは uid@domain で、この「domain」は、ネームスペースへの DNS ドメインのマッピングです。この規則に対する唯一の例外は、デフォルトドメイン内のユーザ用のメールボックス名です。ここでは、内部メールボックス名を作成するために uid だけが使用されます。使用されるドメイン名のデフォルト値が特定のケースでどのようにしてオーバーライドされるかについては、「inetCanonicalDomainName」を参照してください。
----------	---

---

## 例

```
domainUIDSeparator=#
```

## OID

```
2.16.840.1.113730.3.1.702
```

## domOrgMaxUsers

初出

iPlanet Messaging Server 5.0

構文

cis、single-valued

オブジェクトクラス

inetDomainOrg

定義

ドメイン組織内のユーザエントリの最大数

例

domOrgMaxUser=500

OID

2.16.840.1.113730.3.1.697

## domOrgNumUsers

初出

iPlanet Messaging Server 5.0

構文

cis、single-valued

オブジェクトクラス

inetDomainOrg

定義

ドメイン組織内の現在のユーザエントリ数

例

domOrgNumUsers=345

OID

2.16.840.1.113730.3.1.698

## facsimileTelephoneNumber

初出

iPlanet Calendar Server 5.1

構文

tel、single-valued

オブジェクトクラス

icsCalendarResource, inetResource

定義

リソースのファックス番号

例

1-800-555-1212

OID

2.5.4.23

## givenName

初出

LDAP

構文

cis

オブジェクトクラス

icsCalendarUser

定義

このエントリの名 (given name) を指定します。通常は人のファーストネームになります。

例

givenName = John

OID

2.5.4.42

## icsAlias

### 初出

iPlanet Calendar Server 5.1

### 構文

cis、UTF8 エンコード

### オブジェクトクラス

icsCalendarResource

### 定義

リソースに関連付けられたエイリアス。エイリアスによりエンドユーザが簡単にリソース名を扱うことができます。

### 例

「halleyscomet」という名前のリソースは、「Halley's Comet」というエイリアスを作ることができます。

```
icsAlias = Halley's Comet
```

### OID

2.16.840.1.113730.3.1.725

## icsCalendar

### 初出

iPlanet Calendar Server 5.1

### 構文

ces、single-valued

### オブジェクトクラス

icsCalendarResource, icsCalendarUser

### 定義

ユーザまたはリソースのためのデフォルトのカレンダー

### 例

```
icsCalendar = jdoe
```



OID  
2.16.840.1.113730.3.1.731

## icsCapacity

初出  
iPlanet Calendar Server 5.1

構文  
int、single-valued

オブジェクトクラス

定義  
予約済、実装されていません。

例

OID  
2.16.840.1.113730.3.1.800

## icsContact

初出  
iPlanet Calendar Server 5.1

構文  
cis、UTF8 エンコード

オブジェクトクラス  
icsCalendarResource

定義  
予約済、実装されていません。

例

OID  
2.16.840.1.113730.3.1.733

## icsDefaultAccess

### 初出

iPlanet Calendar Server 5.1

### 構文

cis

### オブジェクトクラス

### 定義

予約済、実装されていません。

### 例

### OID

2.16.840.1.113730.3.1.734

## icsDefaultSet

### 初出

iPlanet Calendar Server 5.1

### 構文

ces、single-valued

### オブジェクトクラス

icsCalendarUser

### 定義

ログイン時にどのカレンダーを表示するかについてのユーザ設定。ユーザは、ログイン時に表示されるカレンダーを、単一のカレンダーでなく任意のカレンダーセット（作成したカレンダーのグループ）で指定することができます。

### 例

icsDefaultSet=MyCalendarGroup

### OID

2.16.840.1.113730.3.1.735

## icsExtended

初出

iPlanet Calendar Server 5,0

構文

cis

オブジェクトクラス

定義

予約済、実装されていません。

例

OID

2.16.840.1.113730.3.1.738

## icsExtendedResourcePrefs

初出

iPlanet Calendar Server 5.1

構文

cis

オブジェクトクラス

定義

予約済、実装されていません。

例

OID

2.16.840.1.113730.3.1.741

# icsExtendedUserPrefs

## 初出

iPlanet Calendar Server 5.1

## 構文

cis、multi-valued

## オブジェクトクラス

icsCalendarUser

## 定義

カレンダーのユーザ設定についての拡張。次に示すのは、属性とその値です。

属性	値	定義
ceAllCalendarTZIDS		
ceClock	12, 24	12 時間形式または 24 時間形式のどちらを使用するかを定義します。
ceColorSet	pref_group1 pref_group2 pref_group3 pref_group4 pref_group7	5 つの UI カラースキーマのどれを使用するかを定義します。
ceDateOrder	M/D/Y D/M/Y Y/M/D	日付の 3 つの要素 (月 (M)、日 (D)、年 (Y)) が表示される順序を指定します。
ceDateSeparator	印刷可能な単一の文字。 たとえば、/ または -	表示される日付の要素 (M、D、Y) を区切るために使用される単一の文字です。  たとえば、日付は「12/22/2002」のように表示できます。
ceDayHead	0 - 23	カレンダー情報の表示の開始時刻 (1 日 24 時間のうちの 1 つで表示)
ceDayTail	0 - 23	カレンダー情報の表示の終了時刻 (1 日 24 時間のうちの 1 つで表示)
cdDefaultAgenda		
cdDefaultAlarmEmail	空白スペースで区切られた電子メールアドレス	イベントアラームの送信先の電子メールアドレス

属性	値	定義
ceDefaultAlarmStart	P[unit count][unit type]	イベントアラームが送信されるまでの時間。unit count は任意の数値で、unit type は「M(分)」、「H(時)」、または「D(日)」のどれかにします。  例: P10M
ceDefaultTZID	ISO 8601 のタイムゾーンの1つ  タイムゾーンの一覧は、「ISO 8601 タイムゾーン」を参照	カレンダーにタイムゾーンが割り当てられない場合に使用するタイムゾーン
ceDefaultView	dayview weekview monthview yearview groupview	ログイン時に表示されるビュー  このパラメータが存在しないと、デフォルトとして overview が使用されます。  (「groupview」は、ユーザインタフェースの「比較ビュー」です)
ceFontFace	次の値のうちの1つ 1) Times New Roman、Times、serif 2) Courier New、Courier、noon 3) PrimaSans BT、Verdana、sans-serif	ユーザインタフェースで使用するフォントの種類を3つの中から選択できます。
ceFontSizeDelta	pref_font_size_group_2 (標準) pref_font_size_group_1 (大) pref_font_size_group_3 (小)	ユーザインタフェースに3つのフォントサイズを定義します。インタフェース内では次のように定義されます。  normal、larger、smaller
ceInterval	PT0H15M PT0H30M PT1H0M PT2H0M PT4H0M	カレンダー情報の表示に使用される時間間隔を定義します。 時間間隔は、15分、30分、1時間、2時間、4時間です。
ceNotifyEmail	RFC 822 の有効な電子メールアドレス	カレンダーがイベントへの出席依頼を受信したときに通知がメールされる電子メールアドレス。

属性	値	定義
ceNotifyEnable	0, 1	<p>カレンダーがイベントへの出席依頼を受信したときに、電子メールで通知を送信します、または送信しません。</p> <p>0 = 通知を送信しない 1 = 通知を送信する</p>
ceSingleCalendarTZID	<p>ISO 8601 の有効なタイムゾーン</p> <p>ISO 8601 タイムゾーンの一覧は、「ISO 8601 タイムゾーン」を参照</p>	<p>このカレンダーに割り当てるタイムゾーンのリスト</p> <p>このパラメータが指定されないと、デフォルトのタイムゾーンが使用されます。</p> <p>例 : America/Los_Angeles</p>
ceToolImage	0, 1	<p>ユーザインタフェースで、ツールバー上にアイコンを表示するかどうかを切り替えます。</p> <p>0 = アイコンを表示しない 1 = アイコンを表示する (デフォルト)</p>
ceToolText	0, 1	<p>ユーザインタフェースで、ツールバー上にアイコンテキストを表示するかどうかを切り替えます。</p> <p>0 = アイコンにテキストを表示しない 1 = アイコンにテキストを表示する (デフォルト)</p>

---

**注** ceToolImage および ceToolText に関して、ユーザインタフェースでは、ツールバーに対する選択肢は3つしかありません。アイコンとテキストの両方を表示するか (属性値は 1、1)、アイコンだけを表示するか (属性値は 1、0)、またはテキストだけを表示するか (属性値は 0、1) です。アイコンとテキストの両方を表示しないようにする (属性値が 0、0) ことは、ユーザに許可されていません。

---

#### 例

```
icsextendeduserprefs= ceClock=12
icsextendeduserprefs= ceColorSet=pref_group_1
icsextendeduserprefs= ceDateOrder=D/M/Y
icsextendeduserprefs= cdDateSeparator=
```

```
icsextendeduserprefs= ceDayHead=10
icsextendeduserprefs= ceDayTail=17
icsextendeduserprefs= ceDefaultAlarmEmail=jdoe@sesta.com
icsextendeduserprefs= ceDefaultAlarmStart=P30H
icsextendeduserprefs= cdDefaultTZID=America/New_York
icsextendeduserprefs= ceDefaultView=groupview
icsextendeduserprefs= ceFontFace=PrimaSans BT,Verdana,sans-serif
icsextendeduserprefs= ceFontSizeDelta=pref_font_size_group_3
icsextendeduserprefs= ceInterval=PT2H0M
icsextendeduserprefs= ceNotifyEmail=jdoe@sesta.com
icsextendeduserprefs= ceNotifyEnable=0
icsextendeduserprefs= ceSingleCalendarTZID=America/Los_Angeles
icsextendeduserprefs= ceToolText=1
icsextendeduserprefs= ceToolImage=1
```

```
OID
2.16.840.1.113730.3.1.742
```

## icsFirstDay

初出  
iPlanet Calendar Server 5.1

構文  
cis、single-valued

オブジェクトクラス  
icsCalendarUser

定義  
ユーザのカレンダーに表示される週の最初の日

値の範囲: 1-7、1 = 日、2 = 月、3 = 火、4 = 水、5 = 木、6 = 金、7 = 土

例  
icsFirstDay = 1

OID  
2.16.840.1.113730.3.1.743

## icsFreeBusy

初出  
iPlanet Calendar Server 5.1

構文  
ces、single-valued

オブジェクトクラス

定義  
予約済、実装されていません。

例

OID  
2.16.840.1.113730.3.1.744

## icsGeo

初出  
iPlanet Calendar Server 5.1

構文  
cis、single-valued

緯度、経度

オブジェクトクラス

定義  
予約済、実装されていません。

例

このクラスは RFC 仕様に準拠するためにだけ存在し、使用されていません。

OID  
2.16.840.1.113730.3.1.745



## icsPartition

初出

iPlanet Calendar Server 5.1

構文

cis、single-valued

オブジェクトクラス

定義

予約済、実装されていません。

例

OID

## icsPreferredHost

初出

iPlanet Calendar Server 5.1

構文

cis、single-valued

オブジェクトクラス

定義

予約済、実装されていません。

例

OID

2.16.840.1.113730.3.1.749

## icsQuota

### 初出

iPlanet Calendar Server 5.1

### 構文

int、single-valued

### オブジェクトクラス

### 定義

予約済、実装されていません。

### 例

#### OID

2.16.840.1.113730.3.1.748

## icsSet

### 初出

iPlanet Calendar Server 5.1

### 構文

cis、multi-valued

### オブジェクトクラス

icsAnonymousSet, icsCalendarUser, icsDefaultAnonymousSet

### 定義

カレンダーの 1 グループを定義します。さまざまな作業用にエンドユーザがこのよう  
なグループを作成します。各グループは 1 つの icsSet 属性で表されます。つまり、  
ユーザが作成するグループごとに、1 つの icsSet 属性があります。たとえば、ユーザ  
が 3 つのグループを定義すると、3 つの icsSet 属性ができます。

この属性の値は 6 つの部分に分かれた文字列で、各部分はドル記号 (\$) で区切ります。

この属性の 6 つの各部の値は次のとおりです。

name	必須	このグループの表示名
------	----	------------

calendars	必須	このグループを形成するカレンダーのカレンダー ID (calid) をセミコロンで区切ったリスト
tzmode	必須	「default」、「inherit」、「specify」の3つの値が可能です。この値で、このグループのタイムゾーンが何に由来しているかを示します。  default = ユーザのデフォルトのタイムゾーンから inherit = グループ内の最初のカレンダーから specify = 次の「tz」の値から
tz	「tzmode = specify」 以外は不要	このグループ用の ISO 8601 タイムゾーン。受入可能な値の一覧は、「ISO 8601 タイムゾーン」を参照してください。「tzmode = specify」が指定されていれば必須ですが、それ以外の場合はオプションです。
mergeInDayView	必須	論理値 (TRUE/FALSE)。この値で、このグループを「日別」に表示するか (TRUE)、「比較ビュー」に表示するか (FALSE) を示します。
description	オプション	文字列。カレンダーの説明で、オプションです。

### 例

この属性の値は1行に収まるはずですが、複数行にわたる場合は、1個のスペースまたはタブで次の行を始めます。

```
icsSet = name = GroupName$ calendars = calid1;
calid2; calid3$tzmode = specify$tz = America/
Los_Angeles$mergeInDayView = FALSE$description
= Example group of calendars.
```

### OID

2.16.840.1.113730.3.1.753

## icsStatus

### 初出

iPlanet Calendar Server 5.1

### 構文

cis、single-valued

### オブジェクトクラス

### 定義

予約済、実装されていません。

### 例

#### OID

2.16.840.1.113730.3.1.755

## icsSubscribed

### 初出

iPlanet Calendar Server 5.1

### 構文

ces、multi-valued

### オブジェクトクラス

icsCalendarUser

### 定義

このユーザが購読しているカレンダー ID のリスト

この属性の値はカレンダー ID であり、オプションで、ドル記号 (\$) で区切られてカレンダー名が続きます。

### 例

```
icsSubscribed=jdoe$MyHomeCalendar  
icsSubscribed=jsmith
```

#### OID

2.16.840.1.113730.3.1.756

## icsTimezone

### 初出

iPlanet Calendar Server 5.1

### 構文

cis

### オブジェクトクラス

icsCalendarResource, icsCalendarUser

### 定義

このユーザ、リソース、またはドメインのデフォルトのタイムゾーン。詳細は、155ページの「オブジェクトの識別子」にあるリストの ISO 8601 タイムゾーンを参照してください。

### 例

```
icsTimezone = America/Chicago
```

### OID

2.16.840.1.113730.3.1.757

## inetCanonicalDomainName

### 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

### 構文

cis、single-valued

### オブジェクトクラス

inetDomainAuthInfo

### 定義

この属性は完全指定ドメイン名であり、複数の DC ノードが同じ組織サブツリーを参照する場合に使用されます。この属性が指定されない場合、標準ドメイン名は、DC ノードで表される名前と同じです。たとえば、`dc=france,dc=sesta,dc=com,o=internet` ノードエントリに

inetCanonicalDomainName がない場合、標準ドメイン名は france.sesta.com であるとみなされます。ただし、inetDomainBaseDN 属性を使用して前述の DC ノードとして同じ組織ノードを指し示す DC ノードが複数ある場合は、inetCanonicalDomainName を同じ値に設定する必要があります。

#### 例

```
inetCanonicalDomainName= france.sesta.com
```

#### OID

```
2.16.840.1.113730.3.1.701
```

## inetCOS

#### 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

#### 構文

cis、single-valued

#### オブジェクトクラス

ipUser

#### 定義

(組織ツリードメイン) ユーザエントリ内の属性に値を与える COS (サービスクラス) テンプレートの名前を指定します。COS テンプレートの RDN が、この属性の値です。テンプレートから与えられる属性値とそれらをオーバーライドする規則は、COS 定義内に指定されています。COS 定義は、オブジェクトクラスの cosDefinition を使用して作成されます。COS 定義のエントリ内にある cosSpecifier 属性の値が inetCOS に設定されます。そのドメインのサブツリー内にある ou=COS コンテナに、COS 定義とテンプレートを作成します。詳細は、『iPlanet Messaging Server プロビジョニングガイド』を参照してください。

#### 例

```
inetCos=HallofFame
```

#### OID

```
2.16.840.1.113730.3.1.706
```

## inetDomainBaseDN

### 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

### 構文

dn、single-valued

### オブジェクトクラス

inetDomain

### 定義

すべてのユーザおよびグループのエントリが格納される、カスタマの組織サブツリーの DN (DC ツリー)。この属性は必須であり、有効な組織サブツリーの DN を示す必要があります。Messaging Server のコンポーネントは、ホスト組織に対応するユーザエントリおよびグループエントリを検索するために、この DN を解決する必要があります。

### 例

inetDomainBaseDN=o=sesta.com,o=siroe-isp.com

### OID

2.16.840.1.113730.3.1.690

## inetDomainCertMap

### 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

### 構文

cis、multi-valued

### オブジェクトクラス

inetDomainAuthInfo

### 定義

予約済

### 例

TBD

OID

2.16.840.1.113730.3.1.700

## inetDomainSearchFilter

初出

iPlanet Messaging Server 5.0

構文

cis、single-valued

オブジェクトクラス

inetDomainAuthInfo

定義

inetDomainBaseDN に指定されたサブツリー内でユーザを検索するとき使用する LDAP 検索フィルタ。ドメイン内のログイン名を LDAP エントリにマップするために、認証中に使用されます。フィルタの作成に次の変数を使用することができます。

- %U - ログイン名の名前の部分 (サーバの構成上で格納されている、ログイン区切り文字より前の全ての部分)
- %V - ログイン文字列のドメイン部分

この属性を指定しない場合は、uid=%U と等価になります。uid=john\_siroe.com などの複合 uid でユーザが規定されるネームスペースでは、uid=%U\_%V の検索フィルタが使用されます。ここで、john はユーザ ID、siroe.com はドメインです。これによって、ログイン文字列の john@siroe.com (@ はサービスのログイン区切り文字) が、siroe.com のエントリのネームスペースのサービスによって、検索要求にマップされます。ここでは、uid=john\_siroe.com となります。この属性を使用する別の例として、社員を社員 ID に基づいてログインするサイトが挙げられます。ユーザエントリ内の empID 属性に社員 ID が格納されていると想定すると、検索フィルタは empID=%U になります。

この属性によって、inetDomainBaseDN サブツリー内で完全に一致した有効ユーザが返されます。この属性が設定されていない場合は、uid 属性が inetDomainBaseDN サブツリー内で一意である必要があります。

例

inetDomainSearchFilter=uid=%U

OID

2.16.840.1.113730.3.1.699



# inetDomainStatus

初出

iPlanet Messaging Server 5.0

構文

cis、single-valued

オブジェクトクラス

inetDomain

定義

ドメインのグローバルステータスを指定します。この属性の目的は、管理者が、ドメインとドメインで有効なすべてのサービスに、ドメイン内のすべてのユーザが一時的にアクセスできないようにして、後に再びアクセスできるようにすることです。または、アクセスを永久に削除することです。この属性は、3つの値のうちの1つをとります。サポートされる値は、次のとおりです。

active	ドメインはアクティブであり、ドメイン内のユーザは、サービス特有のオブジェクトクラスのオーバーレイ、およびそのサービス特有のステータス属性に示されたサービス状態によって、有効にされたサービスを使用することができます。
inactive	ドメインはアクティブではありません。アカウントは、サービス特有のオブジェクトクラスにより許可されたいずれのサービスも使用できない場合があります。この状態は、サービスのステータス属性を使用して設定された個々のサービスステータスをオーバーライドします。
deleted	ドメインは削除済みとマークされます。アカウントは、ディレクトリ内でこの状態にしばらくとどまります(削除されたユーザのページは保留されます)。削除済みとマークが付けられたドメイン内のすべてのユーザが要求するサービスに対して、永続的な失敗が返されます。

値がないと、ステータスは active とみなされます。不正な値はすべて、inactive とみなされます。

メールサービスが確認する4つのステータス属性があり、inetDomainStatus、mailDomainStatus、inetUserStatus、mailUserStatusの順に評価されます。これらの属性のうちで active 以外に設定された最初の属性が、ほかのすべての属性に優先します。

同様に、この属性はステータスを評価するときのカレンダーサービスにも使用されます。使用されるステータス属性は、`inetDomainStatus`、(`icsCalendarDomain` の) `icsStatus`、および `inetResourceStatus` または `inetUserStatus` のどちらか、さらに (`icsCalendarResource` または `icsCalendarUser` の) `icsStatus` となります。

**例**

```
inetDomainStatus=active
```

**OID**

```
2.16.840.1.113730.3.1.691
```

## inetMailGroupStatus

**初出**

iPlanet Messaging Server 5.0

**構文**

`cis`、`single-valued`

**オブジェクトクラス**

`inetMailGroup`

**定義**

メールグループの現在のステータスであり、`active`、`inactive`、または `deleted` です。ステータスが `active` の場合、メーリングリストのメンバーにメッセージが配信されます。ステータスが `inactive` では、メーリングリストへ送信されたメッセージが一時的に失敗になります。`deleted` ステータスは、メーリングリストがディレクトリからパージされる可能性があることを意味します。このグループにメッセージが送信されると、永続的に失敗のメッセージが返されます。値がないと、ステータスは `active` とみなされます。不正な値はすべて、`inactive` とみなされます。

3つのステータス属性 `inetDomainStatus`、`mailDomainStatus`、および `inetMailGroupStatus` は、相互に作用します。これらの属性は、ここに挙げた順に評価されます。最初に `active` であるステータスが、ほかのステータスの設定に優先します。

**例**

```
inetMailGroupStatus=active
```

OID  
2.16.840.1.113730.3.1.786

## inetResourceStatus

初出  
iPlanet Calendar Server 5.1

構文  
cis、single-valued

オブジェクトクラス  
inetResource

定義  
「active」、「Inactive」、または「deleted」のどれかの値の、現在のリソースステータスステータスを決定するために評価されるいくつかのステータス属性があります。これらの属性は、inetDomainStatus、icsStatus(icsCalendarDomainの場合)、inetResourceStatus、icsStatus(icsCalendarResourceの場合)の順に評価されます。これらの属性は、ここに挙げた順に評価されます。最初に active であるステータスが、ほかのステータスの設定に優先します。

例  
inetResourceStatus = active

OID  
2.16.840.1.113730.3.1.758

## inetSubscriberAccountId

初出  
iPlanet Messaging Server 5.0

構文  
cis、multi-valued

オブジェクトクラス  
inetSubscriber

**定義**

課金の目的で使用される一意のアカウント ID

**例**

inetSubscriberAccountId=A3560B0

**OID**

2.16.840.1.113730.3.1.694

## inetSubscriberChallenge

**初出**

iPlanet Messaging Server 5.0

**構文**

cis、single-valued

**オブジェクトクラス**

inetSubscriber

**定義**

サブスクライバを識別するために使用されるチャレンジフレーズを格納するための属性。inetSubscriberResponse とともに使用されます。

**例**

inetSubscriberChallenge=Mother's Maiden Name

**OID**

2.16.840.1.113730.3.1.695

## inetSubscriberResponse

**初出**

iPlanet Messaging Server 5.0

**構文**

cis、single-valued

### オブジェクトクラス

inetSubscriber

### 定義

チャレンジフレーズへの応答を格納するための属性。

### 例

inetSubscriberResponse=Mamasita

### OID

2.16.840.1.113730.3.1.696

## inetUserHttpURL

### 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

### 構文

cis、single-valued

### オブジェクトクラス

inetUser

### 定義

Web コンテンツを公開するための、ユーザのプライマリ URL。これは情報を示す属性であり、電話帳タイプのアプリケーションで使用することができます。操作に影響を与えるものではありません。

### 例

inetUserHttpURL=http://www.siroe.com/theotis

### OID

2.16.840.1.113730.3.1.693

# inetUserStatus

## 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

## 構文

cis、single-valued

## オブジェクトクラス

inetUser

## 定義

ユーザアカウントのステータスをグローバルサーバのアクセスに関連して指定します。管理者は、この属性で指定したユーザアカウントによって、指定したユーザのすべてのサービスへのアクセスを一時的に中断、再起動したり、または永続的に削除したりすることができます。この属性は、次の3つの値のうちの1つをとります。

<b>active</b>	ユーザアカウントはアクティブであり、ユーザは、サービス特有のオブジェクトクラスのオーバーレイ、およびそのサービスのための特定のステータス属性に示されたサービス状態によって、有効にされたサービスをすべて使用することができます。たとえば、 <code>mailUserStatus</code> と <code>inetDomainStatus</code> の両方が <code>active</code> に設定されていると、ユーザは電子メールシステムを使用することができます。
<b>inactive</b>	ユーザのアカウントはアクティブではありません。アカウントは、サービス特有のオブジェクトクラスに保証されたどのサービスも使用することができません。この状態は、サービスのステータス属性を使用して設定された個々のサービスステータスに優先します。
<b>deleted</b>	アカウントは削除済みとマークされます。アカウントは、ディレクトリ内でこの状態のまましばらくとどまります(削除されたユーザのページは保留されます)。削除済みとマークが付けられたユーザが要求するサービスに対して、永続的な失敗が返されます。

値がないと、ステータスは `active` とみなされます。不正な値はすべて、`inactive` とみなされます。

メールサービスが確認する4つのステータス属性があり、`inetDomainStatus`、`mailDomainStatus`、`inetUserStatus`、`mailUserStatus` の順に評価されます。これらの属性のうちで `active` 以外に設定された最初の属性が、ほかのすべての属性に優先します。

カレンダーサービスの場合、評価される属性は、`inetDomainStatus`、`icsStatus` (`icsCalendarDomain` の場合)、`inetUserStatus`、`icsStatus` (`icsCalendarUser` の場合) です。

例

```
inetUserStatus=inactive
```

OID

```
2.16.840.1.113730.3.1.692
```

## mail

初出

iPlanet Messaging Server 5.0

構文

`cis`、`single-valued`

オブジェクトクラス

```
inetLocalMailRecipient, icsCalendarResource, icsCalendarUser
```

定義

ユーザのプライマリ電子メールアドレスを識別します (ホワイトページ (個人別電話帳) 検索アプリケーションによって取り出され、表示される電子メールアドレス)。

例

```
mail=jdoe@sesta.com
```

OID

```
0.9.2342.19200300.100.1.3
```

## mailAccessProxyPreAuth

初出

iPlanet Messaging Server 5.0

構文

`cis`、`single-valued`

### オブジェクトクラス

mailDomain

### 定義

このドメイン内のユーザを事前に認証しなければならない場合、この属性によって MMP に伝えます。指定できる値は、yes または no です。

### 例

mailAccessProxyPreAuth=yes

### OID

2.16.840.1.113730.3.1.769

## mailAccessProxyReplay

### 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

### 構文

cis、single-valued

### オブジェクトクラス

mailDomain

### 定義

この属性によって、バックエンドのメールサーバを使用してログインシーケンスに  
応答する際の、ログイン文字列の再構成方法を **Messaging Multiplexor (MMP)** に伝えます。  
この属性を指定しないと、メッセージアクセスプロキシは、クライアントに使用され  
るログイン名、クライアントのドメイン、およびこのサービスで使用されるログイン  
区切り文字に基づいて、応答文字列を構成します。メッセージアクセスプロキシが  
**iPlanet Messaging and Collaboration** 以外の異なるバックエンドサーバを使用している場  
合は、このデフォルトの動作を、mailAccessProxyReplay 属性でオーバーライドしま  
す。

構文はログイン文字列の構文であり、次のように置き換えられます。

- %U: ログイン名。つまり、{name.domain} を複合している場合のログイン文字列の  
名前部分
- %V: ログイン文字列のドメイン部分
- %[attr]: LDAP ユーザ属性の値



**例**

1. クライアントが hugo としてログインし、使用されるサーバの IP アドレスに関連するドメインが yoyo.com で、しかも mailAccessProxyReplay=%U@%V が指定されている場合、応答されるログイン文字列は hugo@yoyo.com になります。
2. クライアントが hugo としてログインし、使用されるサーバの IP アドレスに関連するドメインが yoyo.com で、さらに mailAccessProxyReplay=%[surname]@%V が指定されている場合、応答されるログイン文字列は、クライアントの surname 属性の値になります。
3. クライアントが hugo+yoyo.com としてログインし、使用されるサービス用のログイン区切り文字が + で、さらに mailAccessProxyReplay=%U@%V が指定されている場合、応答されるログイン文字列は hugo@yoyo.com になります。
4. クライアントが hugo としてログインし、使用されるサーバの IP アドレスに関連するドメインが yoyo.com のときに mailAccessProxyReplay が指定されておらず、しかも使用されるサービス用のログイン区切り文字が + の場合、応答されるログイン文字列は hugo+yoyo.com になります。

**OID**

2.16.840.1.113730.3.1.763

## mailAdminRole

**初出**

iPlanet Messaging Server 5.0

**構文**

cis、single-valued

**オブジェクトクラス**

inetMailAdministrator

**定義**

グループのメンバーに割り当てられる管理ロールを指定します。この属性のための唯一の有効な値は、storeAdmin です。この属性 (inetMailAdministrator) を含むオブジェクトクラスは、グループのメンバーにメールサーバ部分への管理権限を与えるために、グループエントリでオーバーレイされます。現在のところ、グループのメンバーが継承する唯一の権限は、ドメイン内のどのユーザに対してもプロキシ認証を実行する権限です。このような権限は、グループが定義されているドメインと同じドメイン内のユーザに拡張されます。このような権限の許可には、mailAdminRole を storeAdmin の値に設定する必要があります。

mailAllowedServiceAccess

例

mailAdminRole=storeAdmin

OID

2.16.840.1.113730.3.1.780

## mailAllowedServiceAccess

初出

iPlanet Messaging Server 5.0

構文

cis、single-valued

オブジェクトクラス

inetMailUser

定義

アクセスフィルタを格納します。フィルタを指定しないと、ユーザはすべてのクライアントからすべてのサービスにアクセスできます。フィルタ規則は \$ で区切られ、ユーザが要求したサービスへのアクセス権を与えられる許可フィルタ、またはサービスへのアクセスが拒否される拒否フィルタのどちらかが検出されなければ、順番に評価されます。フィルタのフォーマットは、次のとおりです。

```
"+|-<daemon_list>": "<client_list>."
```

daemon\_list は、アクセスが許可または拒否されるサービスを、カンマで区切りで列挙します。

有効なサービス名は、imap、imaps、pop、pops、smtp、smtps、および http です。

アクセスフィルタの構文およびその例については、『iPlanet Messaging Server 管理者ガイド』の「POP、IMAP、および HTTP サービスへのクライアントアクセスを設定する」を参照してください。

<http://docs.ipplanet.com/docs/manuals/messaging/ims50/ag/security.htm#13295>

例

mailAllowedServiceAccess=+imap, pop, http:\*

OID

2.16.840.1.113730.3.1.777

## mailAlternateAddress

### 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

### 構文

cis、multi-valued

### オブジェクトクラス

inetLocalMailRecipient, pabPerson

### 定義

この受取人のその他の RFC 822 電子メールアドレス。キャッチオールアドレスとしてユーザおよびグループを示すため、アドレスのローカル部分を省略することができます。キャッチオールドメインアドレスは、MTA が指定されたドメインで正確に一致するユーザアドレスを検出できない場合に、そのドメインに対してメールを受信するアドレスです。あらゆるユーザについてバニティドメイン（「ライトウェイトドメイン」ともいう）を示すために、msgVanityDomainUser を使用することによってユーザのプライマリドメインをオーバーライドする方法の詳細を参照してください。

### 例

```
mailAlternateAddress=thief@florizel.com
```

### OID

2.16.840.1.113730.3.1.13

## mailAutoReplyMode

### 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

### 構文

cis、single-valued

### オブジェクトクラス

inetMailUser

### 定義

ユーザのメールアカウントに自動返信モードを指定します。有効な値は、次のとおりです。

mailAutoReplySubject

- echo - mailAutoReplyText または mailAutoReplyTextInternal を追加して、元のメッセージを送信者に返します（エコーします）。
- reply - mailAutoReplyText または mailAutoReplyTextInternal 属性に入っている固定応答を送信者に送ります。

例

```
mailAutoReplyMode=echo
```

OID

```
2.16.840.1.113730.3.1.14
```

## mailAutoReplySubject

初出

iPlanet Messaging Server 5.0

構文

cis、single-valued

オブジェクトクラス

```
inetMailUser
```

定義

自動返信の件名のテキスト。\$SUBJECT を使用して、元のメッセージの件名を応答に挿入することができます。

例

```
mailAutoreplySubject=I am on vacation
```

OID

```
2.16.840.1.113730.3.1.772
```

## mailAutoReplyText

初出

iPlanet Messaging Server 5.0

構文

cis、single-valued

オブジェクトクラス

inetMailUser

定義

受取人のドメイン内のユーザを除くすべての送信者に送信する自動返信のテキスト。指定しないと、外部ユーザは自動応答を受信しません。

例

```
mailAutoreplyText=Please contact me later.
```

OID

2.16.840.1.113730.3.1.15

## mailAutoReplyTextInternal

初出

iPlanet Messaging Server 5.0

構文

cis、single-valued

オブジェクトクラス

inetMailUser

定義

受取人のドメインから送信者に送られる自動返信のテキスト。指定しなければ、内部ユーザがメールの自動返信テキストのメッセージを受け取ります。

例

```
mailAutoreplyTextInternal=Please contact me later.
```

OID

2.16.840.1.113730.3.1.773

## mailAutoReplyTimeOut

初出

iPlanet Messaging Server 5.0

構文

int、single-valued

オブジェクトクラス

inetMailUser

定義

任意の差出人への自動返信の応答に成功するまでの時間間隔 ( 時間単位 )。mailAutoReplyMode=reply の場合にだけ、使用します。値が 0 の場合は、メッセージ受信のたびに応答が送り返されます。元のメッセージの「to」または「Cc:」に受取人がリストされた場合のみ、自動返信の応答が送信されます。

例

```
mailAutoreplyTimeout=48
```

OID

2.16.840.1.113730.3.1.771

## mailClientAttachmentQuota

初出

iPlanet Messaging Server 5.0

構文

int、single-valued

オブジェクトクラス

mailDomain

定義

このドメイン内で Messenger Express ユーザが 1 メッセージにつき送信できる添付ファイルの数を示す、正の整数値。値が -1 の場合、添付ファイルの数に制限はありません。

例

```
mailClientAttachmentQuota=12
```

OID  
2.16.840.1.113730.3.1.768

## mailConversionTag

初出  
iPlanet Messaging Server 5,2

構文  
cis、multi-valued (ASCII 文字列)

オブジェクトクラス  
inetMailGroup, inetMailUser

定義  
このユーザまたはグループへのメッセージに添付される変換タグ。タグ特有の変換動作は、MTA 構成内で指定されます。この属性は、imsimta dirsync オプションではなく、直接 LDAP モードにだけ作用します。

例

OID

## mailDeferProcessing

初出  
iPlanet Messaging Server 5,2

構文  
cis、single-valued (ASCII 文字列)

オブジェクトクラス  
inetMailGroup, inetMailUser

### 定義

現在のユーザエントリまたはグループエントリのアドレス拡張がただちに実行されるか(値は「No」)、またはあとで実行するか(値は「Yes」)を制御します。値が「Yes」で、しかも現在のソースチャンネルが再処理チャンネルでない場合は、延期されます。延期は、ユーザまたはグループのアドレスを再処理チャンネルに指定することで実行されます。つまり、エイリアスの拡張は中止され、元のアドレス (user@domain) が再処理チャンネルのキューに入れられます。

ユーザのデフォルトは、即時に処理することです(値は「No」)。メーリングリストなどのグループのデフォルトは、1 (yes) です。DEFER\_GROUP\_PROCESSING MTA オプションによって制御されています。

この属性は、imsimta dirsync オプションではなく、直接 LDAP モードにだけ作用します。

### 例

```
mailDeferProcessing=No
```

### OID

TBD

## mailDeliveryFileURL

### 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

### 構文

ces、single-valued

### オブジェクトクラス

inetMailGroup

### 定義

メーリングリストに送信されたすべてのメッセージに付加される、ファイルの完全指定ローカルパス。mailDeliveryOption=file とともに使用されます。

### 例

```
mailDeliveryFileURL=/home/dreamteam/mail_archive
```

### OID

2.16.840.1.113730.3.1.787



# mailDeliveryOption

初出

iPlanet Messaging Server 5.0

構文

cis、multi-valued

オブジェクトクラス

inetMailGroup, inetMailUser

定義

メール受取人の配信オプションを指定します。インバウンドメッセージの複数の配信経路をサポートするために、ユーザエントリ、およびグループエントリに、複数の値を指定できます。この属性が使用されるオブジェクトクラスが `inetMailGroup` か、または `inetMailUser` かによって、値の適用のされ方が異なります。有効な値は、次のとおりです。

`inetMailUser`:

- `autoreply` - `autoreply` の指定は、ユーザにより定まります。受取人がメッセージの「To:」または「Cc:」ヘッダーフィールドにリストされているメッセージは、自動返信チャンネルに送られ、そこで、自動返信メッセージが生成され、元の送信者へ返信されます。
- `forward` - メッセージが転送されるように指定します。転送先のアドレスは、`mailForwardingAddress` 属性に指定されています。
- `hold` - 受取人は、メッセージの受信を一時的に中止します。
- `mailbox` - ユーザの IMA/POP ストアにメッセージを配信します。
- `native` - ユーザの `/var/mail` ストアである `INBOX` にメッセージを配信します。このストアは、パークレー版のメールボックスのフォーマットになっています。

`inetMailGroup`:

- `file` - `mailDeliveryFileURL` 属性で指定されたファイルにメッセージが付加されます。
- `members` - メッセージがメンバーリングリストのメンバーに送信されます。指定がない場合、デフォルトである `members` とみなされます。

`inetMailUser` と `inetMailGroup` に共通:

- `program` - MTA の構成で指定されたプログラム承認リストにあるプログラムへ、メッセージが配信されます。プログラムの名前は、`mailProgramdeliveryInfo` 属性に指定されます。

例

mailDeliveryOption=mailbox

OID

2.16.840.1.113730.3.1.16

## mailDomainAllowedServiceAccess

初出

iPlanet Messaging Server 5.0

構文

cis、single-valued

オブジェクトクラス

mailDomain

定義

アクセスフィルタを格納します。フィルタが指定されないと、ドメイン内のユーザは、すべてのクライアントからすべてのサービスにアクセスすることができます。フィルタ規則は\$で区切られ、ユーザが要求したサービスへのアクセス権を与えられる許可フィルタ、またはサービスへのアクセスが拒否される拒否フィルタのどちらかがなければ、順番に評価されます。フィルタのフォーマットは、次のとおりです。

```
"+|-<daemon_list>":<client_list>.
```

daemon\_list は、アクセスが許可または拒否されるサービスを、カンマで区切りで列挙します。有効なサービス名は、imap、imaps、pop、pops、smtp、smtps、およびhttpです。

例

```
mailDomainAllowedServiceAccess=+imap, pop, http:*
```

OID

2.16.840.1.113730.3.1.764

## mailDomainCatchallAddress

### 初出

iPlanet Messaging Server 5,2

### 構文

cis、single-valued (RFC 822 メールボックス)

### オブジェクトクラス

mailDomain

### 定義

ドメイン内のどのユーザまたはグループとも一致しないアドレスを置き換えるアドレスを指定します。

### 例

OID

TBD

## mailDomainConversionTag

### 初出

iPlanet Messaging Server 5,2

### 構文

cis、multi-valued (ASCII 文字列)

### オブジェクトクラス

mailDomain

### 定義

ドメイン内の任意のユーザへのメッセージに添付する 1 つ以上の変換タグ。タグ特有の変換動作は、MTA 構成内で指定されます。この属性は、imsimta dirsyntax オプションではなく、直接 LDAP モードにだけ作用します。

### 例

OID

TBD

## mailDomainMsgMaxBlocks

### 初出

iPlanet Messaging Server 5,2

### 構文

int、single-valued

### オブジェクトクラス

mailDomain

### 定義

このドメイン内のアドレスに送信されるすべてのメッセージのサイズを、MTA ブロック単位で制限します。この制限は、このドメインからユーザが送信するメッセージには適用されません。

この属性の値は、mailMsgMaxBlocks の値が設定されている場合はその値でオーバーライドされます。

この属性は、imsimta dirsyntax オプションではなく、直接 LDAP モードにだけ作用します。

### 例

OID

TBD

## mailDomainMsgQuota

### 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

### 構文

int、single-valued

### オブジェクトクラス

mailDomain

### 定義

このドメイン内のすべてのユーザに許可されるメッセージの割り当て数。これは割り当て容量レポートツールで使用されるもので、ドメイン全体の割り当ての制限を強制するものではありません。

**例**

mailDomainMsgQuota=2000000

**OID**

2.16.840.1.113730.3.1.767

## mailDomainReportAddress

**初出**

iPlanet Messaging Server 5,2

**構文**

cis、single-valued (RFC 822 メールボックス)

**オブジェクトクラス**

mailDomain

**定義**

この値は、ドメイン内の受取人アドレスに関連する問題を報告するために、**DSN** 内の「From:」アドレスヘッダーとして使用されます。また、ローカル以外のアドレスに関連するエラーについて、ドメイン内のユーザに問題を報告するときにも使用されます。

この属性が設定されない場合、報告アドレスは、デフォルトの「postmaster@domain」になります。

この属性は、imsimta dirsync オプションではなく、直接 LDAP モードにだけ作用します。

**例****OID**

TBD

## mailDomainSieveRuleSource

### 初出

iPlanet Messaging Server 5,2

### 構文

cis、single-valued (RFC 3028 sieve フィルタ)

### オブジェクトクラス

mailDomain

### 定義

ドメイン内のすべてのユーザの sieve フィルタ。

### 例

OID

TBD

## mailDomainStatus

### 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

### 構文

cis、single-valued

### オブジェクトクラス

mailDomain

## 定義

メールドメインの現在のステータス。active、inactive、deleted、またはholdの、どれかの値をとります。この属性は、メールサービスドメインのステータスです。値がないと、ステータスはactiveとみなされます。不正な値は、inactiveとみなされます。

active	このドメイン内のすべてのユーザと、「active」とマークされたドメイン内のすべてのユーザに対し、メールサービスが「active」とマークされます(詳細は、「inetUserStatus」および「mailUserStatus」を参照)。ただし、「mailAllowedServiceAccess」および「mailDomainAllowedServiceAccess」に指定された制限は引き続き適用されます。
inactive	ドメイン内のすべてのユーザに対し、メールサービスが「inactive」とマークされます。ログインしようとしたすべてのユーザは拒否され、ユーザに送信されたメッセージは、一時的な失敗になります。
deleted	メールドメインが「deleted」とマークされ、猶予期間が経過した後のパージユーティリティによるクリーンアップ中に削除されます。メールボックスとユーザのメールサービスのオブジェクトクラスは、クリーンアップに含まれます。
hold	ドメイン内のすべてのユーザに送信されたメッセージは、ホールドチャンネルへリダイレクトされます。移動中に送信者へメッセージを戻す必要がないようにして、ドメイン内のユーザがあるサーバから別のサーバへ移動する際に、通常この値が使用されます。このステータスでは、すべての受信メッセージがホールドチャンネルに送られるので、メッセージを失うおそれがなく、メールボックスを移動することができます。移動が終了するとステータスは「hold」から「active」に変更され、メッセージは、ホールドチャンネルから取り除かれ、ユーザのメールボックスが新しく存在するMTAに送信されます。

メールサービスが確認する4つのステータス属性があり、inetDomainStatus、mailDomainStatus、inetUserStatus、mailUserStatusの順に評価されます。これらの属性のうちでactive以外に設定された最初の属性が、ほかのすべての属性に優先します。

## 例

```
mailDomainStatus=active
```

## OID

```
2.16.840.1.113730.3.1.770
```

## mailDomainWelcomeMessage

### 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

### 構文

cis、single-valued

### オブジェクトクラス

mailDomain

### 定義

このドメインに追加された新規ユーザに送信されるようこそメッセージ。「\$」は、キャリッジリターンを示す記号です。この属性の BNF 構文は、次のとおりです。

```
value:: <subjectline>'$' [<opt_headers>] '$$' <body>
subjectline:: 'Subject:' [<TEXT>]
opt_headers:: <header_line>'$' [<opt_headers>]
header_line:: <header_name>:'<TEXT>'
header_name:: <TEXT>
body:: [<lines>]
lines:: <line>'$' [<lines>]
line:: <TEXT>
```

### 例

```
mailDomainWelcomeMessage=Subject: Welcome!!$X-Endorsement: We're
good. $$Welcome to the mail system.
```

### OID

2.16.840.1.113730.3.1.765

## mailEquivalentAddress

### 初出

iPlanet Messaging Server 5,2

### 構文

cis、multi-valued (RFC 822 アドレス仕様)

### オブジェクトクラス

inetMailGroup, inetMailUser



**定義**

メールのルーティングに関しては `mailAlternateAddress` と同じですが、この属性では、アドレスがヘッダーでプライマリメールアドレスに書き直されません。

この属性は、`imsimta dirsyntax` オプションではなく、直接 LDAP モードにだけ作用します。

**例**

OID  
TBD

## mailForwardingAddress

**初出**

iPlanet Messaging Server 5.0

**構文**

`cis`、`multi-valued`

**オブジェクトクラス**

`inetMailUser`

**定義**

この属性には、インバウンドメッセージのための 1 つ以上の転送アドレスが格納されます。アドレスは、**RFC-822** のフォーマットで指定します。

`mailDeliveryOption=forward` が設定されていると、メッセージはリストに載っているアドレスに転送されます。

**例**

`mailForwardingAddress=kokomo@sesta.com`

**OID**

2.16.840.1.113730.3.1.17

## mailHost

### 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

### 構文

cis、single-valued

### オブジェクトクラス

inetLocalMailRecipient

### 定義

この受取人に送信されたメッセージの最終的な宛先を示す、MTA の完全指定ホスト名。

### 例

```
mailHost=mail.siroe.com
```

### OID

2.16.840.1.113730.3.1.18

## mailMessageStore

### 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

### 構文

cis、single-valued

### オブジェクトクラス

inetMailUser

### 定義

ユーザのメッセージストアパーティション名を指定します。パーティション名と、ストアのファイルシステムの位置とのマッピングは、メッセージストア構成に保存されます。指定しないと、サーバ構成に指定されたデフォルトのストアパーティションが使用されます。

### 例

```
mailMessageStore=secondary
```

OID  
2.16.840.1.113730.3.1.19

## mailMsgMaxBlocks

初出  
iPlanet Messaging Server 5,2

構文  
int、single-valued

オブジェクトクラス  
inetMailGroup, inetMailUser

定義  
このユーザまたはグループに送信可能なメッセージの最大サイズを MTA ブロック単位で示します。この制限は、ユーザが送信するメッセージには適用されません。

この属性が設定されている場合、mailDomainMsgMaxBlocks の値はオーバライドされます。

この属性は、imsimta dirsyntax オプションではなく、直接 LDAP モードにだけ作用します。

例

OID  
TBD

## mailMsgQuota

初出  
iPlanet Messaging Server 5.0

構文  
int、single-valued

オブジェクトクラス  
inetMailUser

**定義**

ユーザに許可される最大メッセージ数は、mailMsgQuota で設定されます。この属性は、ストア内にあるすべてのフォルダの累積値です。0 の値、または何も指定しなかった場合は、システムのデフォルトの割り当てが適用され、-1 を指定した場合は、メッセージ数に制限を受けません。mailMsgQuota を有効にするには、サーバを構成する際に割り当ての制限を設ける必要があります。ソフトとハード両方の割り当てを設定することができます。詳細は、『iPlanet Message Server 管理ガイド』を参照してください。

**例**

```
mailMsgQuota=2000
```

**OID**

```
2.16.840.1.113730.3.1.774
```

## mailProgramDeliveryInfo

**初出**

iPlanet Messaging Server 5.0

**構文**

ces、multi-valued

**オブジェクトクラス**

```
inetMailGroup, inetMailUser
```

**定義**

プログラムの配信に使用される 1 つ以上のプログラムを指定します。指定されるプログラムは、メッセージングサーバが該当ドメインで実行することを許可した承認リストに入っている必要があります。属性の値で、プログラムへの参照を指定します。その参照は、プログラムの承認リストから解釈されます。解釈された参照から、プログラムのパラメータと実行権も提供されます。mailDeliveryOption=program とともに使用されます。プログラムの承認プロセスについては、<http://docs.iplanet.com/docs/manuals/messaging/ims50/ag/users.htm#13443> に説明があります。

**例**

```
mailProgramDeliveryInfo=procmail
```

**OID**

```
2.16.840.1.113730.3.1.20
```

# mailQuota

## 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

## 構文

int、single-valued

## オブジェクトクラス

inetMailUser, mailDomain

## 定義

ユーザのメールボックスに割り当てるディスク容量をバイト数で指定します。0 の値、または何も指定しなかった場合は、システムのデフォルトの割当が適用され、-1 を指定した場合は、使用容量に制限を受けません。システムのデフォルトは、サーバ構成パラメータの `store.defaultmailboxquota` に指定されています。この構成パラメータに割当を設定し、`store.quotaenforcement` をオンに設定すると、メッセージストアに割り当ての制限が適用されます。

## 例

```
mailQuota=5000000
```

## OID

```
2.16.840.1.113730.3.1.21
```

# mailRejectText

## 初出

## 構文

ces、multi-valued

## オブジェクトクラス

mailRoutingAddress

#### 定義

この属性の最初の値に格納された最初の行が保存されます。任意の認証属性が原因でメッセージが拒否された場合、このテキストが返されます。このテキストは **SMTP** の応答に現われる可能性があるため、メッセージング標準に準拠するために、指定する値は US-ASCII 文字に限定されます。

#### 例

OID

TBD

## mailRoutingAddress

#### 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

#### 構文

cis、single-valued

#### オブジェクトクラス

inetLocalMailRecipient

#### 定義

予約済

#### 例

TBD

OID

2.16.840.1.113730.3.1.24

## mailRoutingHosts

#### 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

#### 構文

cis、multi-valued

## オブジェクトクラス

mailDomain

### 定義

このドメイン内のユーザ、および他のドメイン内に含まれているすべてのユーザのルーティングを決定する MTA の、完全指定ホスト名。この属性を指定しないと、すべての MTA がこのドメイン内や他のドメイン内に含まれるユーザ、およびグループのメッセージのルーティングを決定するものとみなされます。

### 例

```
mailRoutingHosts=mail.siroe.com
```

### OID

```
2.16.840.1.113730.3.1.759
```

# mailRoutingSmartHost

### 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

### 構文

cis、single-valued

## オブジェクトクラス

mailDomain

### 定義

ローカルディレクトリ内で検出されないユーザのメール処理を実行するメールサーバの、完全指定ホスト名。メッセージングサーバのディレクトリ内にないユーザへ送信されたメッセージは、この属性で指定されたメールサーバへ転送されます。この属性は、あるメールシステムから別のメールシステムへの移行処理が行われ、すべてのユーザがまだメッセージングサーバのディレクトリに移動していないときに便利です。属性が指定されていない場合や値が空だった場合は、ドメイン内のユーザへのすべてのメッセージのルーティングと配信を、ローカルの MTA が実行します。

### 例

```
mailRoutingSmartHost=mail.siroe.com
```

### OID

```
2.16.840.1.113730.3.1.760
```

# mailSieveRuleSource

初出

iPlanet Messaging Server 5.0

構文

cis、multi-valued

オブジェクトクラス

inetMailUser

定義

iPlanet Delegated Administrator for Messaging には、この属性を変更するためのインタフェースが用意されています。ただし、iPlanet Delegated Administrator for Messaging を使用しないで SIEVE 規則を追加した場合は、そのユーザ用の SIEVE 規則を作成 / 変更するために続けて使用すると、不安定な SIEVE 規則ができる可能性があります。

この属性の値には、2つの可能な形式があります。1つは、RFC 3028 に準拠した完全な sieve スクリプトを含んだ単一の値であり、もう1つは、それぞれが sieve スクリプトの断片を含んだ (RFC 3028 に準拠していない) 複数の値です。後者の形式は、Web フィルタ作成インタフェースによって作成されます。それぞれの値を順番に並べて適切につなげるための特別なコードが使用されます。

SIEVE スクリプトの構文は、<http://docs.iplanet.com/docs/sieve> にあるインターネットドラフトの『Sieve: A Mail filtering Language』に指定されています。

スクリプトの形式は、次のとおりです。

```
require ["fileinto", "reject"];
# $Rule Info: Order=(1-infinity, or 0 for disabled)
Template=(template-name) Name=(rule name)
if header :is "Sender" "owner-ietf-mta-filters@imc.org"
{ fileinto "filter"; # move to "filter" folder }
if header :is "Subject" "SPAM!"
{ delete }
```

## 複数の値 (multi-valued) がある形式

ユーザごとに複数の Sieve スクリプトを LDAP に格納することができます。ユーザのすべての規則を含む1つの大きなスクリプトでなく、いくつかのより小さな規則スクリプトをユーザインタフェースが取り扱えるようにするために、この属性は複数の値 (つまり、複数の規則) をとります。サーバは、mailSieveRuleSource 内のすべての規則を調べます。



順序の指定と情報の編集が可能なユーザインタフェースを提供するために、各規則内にオプションの Sieve コメント行があります。この行の形式は、次のとおりです。

```
# $Rule Info: Order=(1-infinity, or 0 for disabled)
Template=(template-name) Name=(rule name)
```

Order フィールドだけがメッセージングサーバに使用されます。その他のフィールドが、ユーザインタフェースに役立つ可能性のあるフィールドのマーカースとして追加されます。Rule Info 行のあるすべての規則は、メッセージングサーバに最初に処理されます。Order=0 の場合、Sieve の評価にこの規則は使用されません。それ以外の場合、規則は提供された順に処理されます (1 が最優先)。Rule Info の拡張機能を使用して入力されなかった可能性のある Sieve 規則を適用するために、対応する順序の値ですべての規則が処理された後に、検出されたほかの規則が LDAP から受け取った順にサーバによって実行されます。

#### 例

```
mailSieveRuleSource:
require ["fileinto", "reject", "redirect", "discard]
if header :contains "Subject" "New Rules Suggestion
    {redirect "rules@sesta.com" # Forward message }
if header :contains "Sender" "porn.com"
    {discard text:
Your message has been rejected.Please remove this address from your
mailing list. # Reject message, send reply message.}
if size :over 1M
    { reject text:
Please do not send me large attachments.
Put your file on a server and send me the URL.
Thank you. # Discard message, send reply message.}
if header :contains "Sender" "barkley@sesta.com
    { fileinto complaints.refs # File message}
```

OID

2.16.840.1.113730.3.1.775

## mailSMTPSubmitChannel

初出

iPlanet Messaging Server 5.0

構文

cis、single-valued

## オブジェクトクラス

inetMailUser

## 定義

通常、この属性は、保証付きメッセージ配信の設定、またはその他の特別なサービスクラスの設定に関連する要因となります。定義する際に、SMTP の AUTH が成功した場合、この属性によって名前が付けられたチャンネルを有効な送信チャンネルとみなすように MTA に知らせることで。

## 例

```
mailSMTPSubmitChannel=tcp_tas
```

## OID

2.16.840.1.113730.3.1.776

# mailUserStatus

## 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

## 構文

cis、single-valued

## オブジェクトクラス

inetMailUser

## 定義

次のメールユーザステータスのいずれか 1 つを格納します。値がないと、ステータスは inactive とみなされます。

active	正常な状態。inetUserStatus もアクティブな場合、メールは、mailDeliveryOption や mailSieveRuleSource などのほかのユーザ属性に格納された値どおりに処理されます。active に設定されていない場合は、inetUserStatus のステータスが優先します。考慮すべきほかのステータス属性は、inetDomainStatus および mailDomainStatus です。inetDomainStatus と mailDomainStatus の組み合わせでメール配信とドメインへのアクセスが許可されている場合は、inetUserStatus および mailUserStatus からユーザのステータスが決定されます。
inactive	ユーザのメールアカウントはアクティブではありません。送信側の MTA へ一時的な失敗が返されます。

deleted	ユーザのメールアカウントが「deleted」とマークされます。送信側の MTA へ永続的な失敗が返され、ユーザメールアカウントがパージューティリティによるクリーンアップの候補になります。メールボックスへのユーザのアクセスは拒否されます。
hold	ユーザのメールは保留キューに送信され、IMAP、POP、および HTTP 経由のメールボックスへのアクセスが許可されなくなります。ストアサーバ上の MTA と Message Access Server は、この要件に従う必要があります。

値がないと、ステータスは active として扱われます。不正な値はすべて、inactive として扱われます。

メールサービスが確認する 4 つのステータス属性があり、inetDomainStatus、mailDomainStatus、inetUserStatus、mailUserStatus の順に評価されます。これらの属性のうちで active 以外に設定された最初の属性が、ほかのすべての属性に優先します。

#### 例

```
mailUserStatus=active
```

#### OID

```
2.16.840.1.113730.3.1.778
```

## maxPabEntries

#### 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

#### 構文

int、single-valued

#### オブジェクトクラス

ipUser

#### 定義

ユーザが個人アドレスブックのストア内に入れることのできるエントリの最大数を指定します。値が -1 の場合は、エントリ数に制限はありません。この属性が存在しない場合は、個人アドレスブックの構成で指定されたシステムのデフォルトが使用されます。

memberOf

例

maxPabEntries=1000

OID

2.16.840.1.113730.3.1.705

## memberOf

初出

iPlanet Messaging Server 5.0

構文

DN、multi-valued

オブジェクトクラス

inetAdmin, inetUser

定義

ユーザが所属するメーリングリストの DN を指定します。バックポインタとしてグループのメンバーシップを示します。

例

memberOf=cn=Administrators,ou=groups o=sesta.com,o=siroe-isp.com

OID

1.2.840.113556.1.2.102

## memberOfManagedGroup

初出

iPlanet Messaging Server 5.0

構文

DN、single-valued

オブジェクトクラス

ipUser

**定義**

このユーザがメンバーであるファミリーアカウントの DN を指定します。

**例**

```
memberOfManagedGroup=cn=Addams Family, ou=groups, o=sesta.com, o=isp
```

**OID**

```
2.16.840.1.113730.3.1.704
```

## memberOfPAB

**初出**

iPlanet Messaging Server 5.0

**構文**

cis、multi-valued

**オブジェクトクラス**

pabPerson, pabGroup

**定義**

このエントリが属する個人アドレスブックの一意名 (un)。

**例**

```
abab=addressbook122FA7
```

**OID**

```
2.16.840.1.113730.3.1.718
```

## memberOfPABGroup

**初出**

iPlanet Messaging Server 5.0

**構文**

cis、multi-valued

**オブジェクトクラス**

pabPerson

memberURL

**定義**

このユーザが属する個人グループの一意名。

**例**

memberOfPabGroup=testgroup15577F2D

**OID**

2.16.840.1.113730.3.1.719

## memberURL

**初出**

NMS

**構文**

ces、multi-valued

**オブジェクトクラス**

**定義**

URL のリストであり、エクスパンドすると、メーリングリストのメンバーのアドレスが一覧表示されます。

**例**

memberURL=ldap://cn=jdoes, o=sesta.com

**OID**

2.16.840.1.113730.3.1.198

## mgmanAllowSubscribe

**初出**

iPlanet Messaging Server 5.0

**構文**

cis、multi-valued

**オブジェクトクラス**

inetMailGroupManagement

**定義**

このメーリングリストへの加入を許可されたユーザのドメイン名または電子メールアドレス。

**例**

mgmanAllowSubscribe=sestsa.com (sesta.com のすべてのユーザがリストに加入できる)

**OID**

2.16.840.1.113730.3.1.790

## mgmanDenySubscribe

**初出**

iPlanet Messaging Server 5.0

**構文**

cis、multi-valued

**オブジェクトクラス**

inetMailGroupManagement

**定義**

このメーリングリストへの加入を拒否されたユーザのドメイン名または電子メールアドレス。mgmanDenySubscribe 属性は、mgmanAllowSubscribe 属性に優先します。

**例**

mgmanDenySubscribe=siroe.com

**OID**

2.16.840.1.113730.3.1.791

## mgmanGoodbyeText

**初出**

iPlanet Messaging Server 5.0

**構文**

cis、single-valued

mgmanHidden

オブジェクトクラス

inetMailGroupManagement

定義

予約済

例

TBD

OID

2.16.840.1.113730.3.1.797

## mgmanHidden

初出

iPlanet Messaging Server 5.0

構文

cis、single-valued

オブジェクトクラス

inetMailGroupManagement

定義

グループの所有者以外の人々から要求されたリスト内にグループを表示する必要があるかないかを指定する、論理型のフラグ。値が `true` の場合は、グループは隠されます。つまり、リストは表示されません。値が `false` の場合は、リストが表示されます。値がない場合は、`false` の値と同じです。

例

mgmanHidden=true

OID

2.16.840.1.113730.3.1.792

## mgmanIntroText

初出

iPlanet Messaging Server 5.0



**構文**

cis、single-valued

**オブジェクトクラス**

inetMailGroupManagement

**定義**

予約済

**例**

TBD

**OID**

2.16.840.1.113730.3.1.796

## mgmanJoinability

**初出**

iPlanet Messaging Server 5.0

**構文**

cis、single-valued

**オブジェクトクラス**

inetMailGroupManagement

**定義**

グループに加入できるユーザを指定します。指定できる値は、ANYONE、ALL、およびNONEです。この属性が指定されない場合のデフォルトは、NONEです。

- ANYONE - 誰でも加入できます。
- ALL - ディレクトリまたは iPlanet Delegated Administrator for Messaging に認証された任意のユーザが加入できます。
- NONE - 所有者だけが非公開の配布リストにメンバーを追加できます。

**例**

mgmanJoinability=All

**OID**

2.16.840.1.113730.3.1.793

# mgmanMemberVisibility

## 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

## 構文

cis、single-valued

## オブジェクトクラス

inetMailGroupManagement

## 定義

グループのメンバーシップリストを表示する ( グループをエクスパンドする ) 権利を持つユーザを定義します。mgmanJoinability 属性と同様に、この属性も、none、all、true、anyone というキーワード値があります。この属性にどのような値を設定しても、グループの所有者は常に、メンバーシップを表示および変更する権利を保持しています。

この属性は、SMTP の EXPN コマンドの一部として、グループをエクスパンドする際にチェックされます。

anyone	誰でもグループをエクスパンドして、メーリングリスト内のメンバーを表示することができます。また、EXPN コマンドが実行されると、MTA がメンバーのアドレスを返します。
all または true	エクспанションが許可される前に、ディレクトリまたは iPlanet Delegated Administrator for Messaging へのアクセスが認証される必要があります。
none	グループの所有者だけがグループをエクスパンドできます。

認識不能な値は、none と解釈されます。

## 例

```
mgmanMemberVisibility=all
```

## OID

2.16.840.1.113730.3.1.795

## mgmanVisibility

初出

iPlanet Messaging Server 5.0

構文

cis、single-valued

オブジェクトクラス

inetMailGroupManagement

定義

例

OID

2.16.840.1.113730.3.1.794

## mgrpAddHeader

初出

NMS

構文

ces、multi-valued

オブジェクトクラス

inetMailGroup

定義

各属性値で、メッセージヘッダーが存在する場合にヘッダーに追加するヘッダーフィールドを指定します。

MTA の場合、この属性の値はヘッダーの値です。この属性のこの値は、ヘッダートリミングの ADD オプションを設定するために使用されます。

例

mgrpAddHeader=Reply-To: thisgroup@sesta.com

OID

2.16.840.1.113730.3.1.781

## mgrpAllowedBroadcaster

### 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

### 構文

ces、multi-valued

### オブジェクトクラス

inetMailGroup

### 定義

メッセージをメールグループに送信することを許可されたメールユーザを識別します。Messaging Server では、この属性に識別名、あるいは LDAP URI または mailto アドレスを使用する RFC822address のどちらかが入っていることを想定しています (例を参照)。識別名が使用される場合は、group または groupOfUniqueNames タイプのメール可能なエントリ (複数も可) を表している必要があります。この属性のインスタンスが inetMailGroup エントリに存在しない場合は、mgrpAllowedDomain および mgrpDisallowedDomain 属性が使用されないかぎり、メッセージをメールグループに送信できるユーザの制限はありません。

複数の値を使用する場合は、各 URL がアドレスのリストにエクスパンドされ、各アドレスは、現在のエンベロープの送信元のアドレスに対照してチェックされます。一致した場合は、そのメッセージが許可されます。

### 例

Example 1=mgrpAllowedBroadcaster: ldap://uid=bjensen, o=siroe.com

Example 2=mgrpAllowedBroadcaster: mailto:sys50@siroe.com

### OID

2.16.840.1.113730.3.1.22

## mgrpAllowedDomain

### 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

### 構文

cis、multi-valued

## オブジェクトクラス

inetMailGroup

### 定義

ユーザがそこからメッセージをメールグループに送信することを許可されるドメイン (サブドメインも含む) を識別します。この属性のインスタンスが inetMailGroup エントリに存在しない場合は、mgrpAllowedBroadcaster、mgrpDisallowedBroadcaster、および mgrpDisallowedDomain 属性が使用されないかぎり、メッセージをメールグループに送信できるユーザの制限はありません。

### 例

```
mgrpAllowedDomain=siroe.com
```

この例では、\*.siroe.com から送信するすべてのユーザに一致します。

### OID

2.16.840.1.113730.3.1.23

# mgrpAuthPassword

### 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

### 構文

ces、single-valued

## オブジェクトクラス

inetMailGroup

### 定義

(メーリング) リストに投稿するために必要なパスワードを指定します。mgrpBroadcasterPolicy 属性がパスワードを要求するように設定されている場合は、この属性の値が保存されます。ヘッダーが利用可能になると、「承認済み:」フィールドに対照してこの値がチェックされます。チェックが終了すると、ヘッダーから「承認済み:」フィールドが削除されます。

### 例

### OID

2.16.840.1.113730.3.1.783

## mgrpBroadcasterPolicy

### 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

### 構文

cis、single-valued

### オブジェクトクラス

inetMailGroup

### 定義

許可されるブロードキャストを決定するためのポリシー。ブロードキャストのアドレスのリストにアクセスするために必要な、認証のレベルを指定します。指定できる値は、次のとおりです。

- AUTH\_REQ, SMTP\_AUTH\_REQUIRED  
リストに投稿するために、送信者はSMTPのAUTHコマンドを使用して認証される必要があります。
- PASSWORD\_REQUIRED, PASSWD\_REQUIRED, PASSWD\_REQ  
すべての値は、mgrpAuthPassword属性によって指定されたブロードキャストリストへのパスワードが、メッセージ内の「承認済み :」ヘッダーフィールドになければならないことを示しています。
- NO\_REQUIREMENTS  
この値は、特殊な要件が適用されないことを示しています。

### 例

mgrpBroadcasterPolicy=AUTH\_REQ

### OID

2.16.840.1.113730.3.1.3

## mgrpDeliverTo

### 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

### 構文

ces、multi-valued

## オブジェクトクラス

inetMailGroup

## 定義

メールグループのメンバーシップを指定する代替方法として使用されます。この属性の値は URL のリストであり、エクスパンドすると、メーリングリストのメンバーのアドレスが一覧表示されます。

Messaging Server は、この属性に RFC 1959 に説明されているフォーマットを使用した LDAP URL が入っていることを想定します。LDAP 検索の結果返されるエントリは、メーリンググループのメンバーです。これは、動的なメーリングリストを作成するために使用されます。

## 例

```
mgrpDeliverTo=ldap:/// ou=Accounting,o=iPlanet,c=US??sub?(&
(objectClass=inetMailUser)(objectClass=inetOrgPerson))
```

## OID

2.16.840.1.113730.3.1.25

# mgrpDisallowedBroadcaster

## 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

## 構文

ces、multi-valued

## オブジェクトクラス

inetMailGroup

## 定義

メッセージをメールグループに送信することを許可されていないメールユーザを識別します。この属性のインスタンスが inetMailGroup エントリに存在しない場合は、mgrpAllowedDomain および mgrpDisallowedDomain 属性が使用されないかぎり、メッセージをメールグループに送信できるユーザの制限はありません。

Messaging Server は、この属性に識別名または RFC822address のどちらかが入っていることを想定します。識別名が使用される場合は、グループタイプまたは groupOfUniqueNames のメール可能なエントリ (複数も可) を表している必要があります。識別名は、RFC 1959 に説明されているとおりの、LDAP URL の形式で表されている必要があります。

複数の値を使用する場合は、各 URL がアドレスのリストにエクスパンドされ、各アドレスは、現在のエンベロープの送信元のアドレスに対照してチェックされます。一致した場合、そのメッセージは許可されません。

#### 例

Example 1=mgrpDisallowedBroadcaster=ldap://uid=bjensen, o=sesta.com

Example 2=mgrpDisallowedBroadcaster=mailto:sys50@sesta.com

#### OID

2.16.840.1.113730.3.1.785

## mgrpDisallowedDomain

#### 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

#### 構文

cis、multi-valued

#### オブジェクトクラス

inetMailGroup

#### 定義

ユーザがそこからメッセージをメールグループに送信することを許可されないドメインを識別します。この属性は、メーリングリストを管理するために **Messaging Server** に使用される、非公開のエクステンション ( 拡張 ) です。この属性が存在する場合、リストされたドメインからのメッセージは拒否されます。この属性のインスタンスが inetMailGroup エントリに存在しない場合は、mgrpAllowedBroadcaster、mgrpDisallowedBroadcaster、および mgrpAllowedDomain 属性が使用されないかぎり、メッセージをメールグループに送信できるユーザの制限はありません。

#### 例

mgrpDisallowedDomain=florizel.com

#### OID

2.16.840.1.113730.3.1.784



# mgrpErrorsTo

## 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

## 構文

ces、single-valued

## オブジェクトクラス

inetMailGroup

## 定義

メッセージがこの(メーリング)リストに送信されたときに生成されるエラーメッセージの受取人。受取人のアドレスは、mailto 構文を使用して指定できます。この構文には、キーワード「mailto:」を前置する RFC 822 の電子メールアドレス、または単純な RFC 822 の電子メールアドレスが含まれます。また、LDAP URL の構文もサポートします。ただし、LDAP URL を使用する場合は、単一のアドレスを作成する URL である必要があります。

エンベロープオリジネータのアドレスは、この属性の値に設定されます。

## 例

Example 1: mgrpErrorsTo=mailto:jordan@siroe.com

Example 2:

mgrpErrorsTo=ldap:///uid=ofanning,ou=people,o=siroe.com,o=isp

## OID

2.16.840.1.113730.3.1.26

# mgrpModerator

## 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

## 構文

ces、multi-valued

## オブジェクトクラス

inetMailGroup

**定義**

この (メーリング) リストにメッセージを送信することを許可されたモデレータを識別するための LDAP URI または mailto URL。モデレータによって送信されたメッセージだけが、このリストのメンバーに送信されます。モデレータ以外によって送信されたメッセージは、承認および再送信のためにモデレータに転送されます。

この属性の値として指定された URL が一連のアドレスに展開され、エンベロープの「送信元」のアドレスと比較されます。アドレスが一致した場合は、グループ処理が続行されます。一致しなかった場合はこの属性の値がグループの URL となり、RFC 822 アドレスの任意のリスト、またはグループに関連付けられた DN がクリアされ、グループの配信オプションが「members」に設定されて、一致しなかった URL に対してそれ以上のグループ処理は行われません。

**例**

```
mgrpModerator=jordan@sesta.com
```

**OID**

```
2.16.840.1.113730.3.1.33
```

## mgrpMsgMaxSize

**初出**

iPlanet Messaging Server 5.0

**構文**

cis、single-valued

**オブジェクトクラス**

inetMailGroup

**定義**

グループへ送信できる最大のメッセージサイズ (バイト数)。Messaging Server は、この属性のゼロまたは 1 つのインスタンスが、すべての mailGroup エントリに存在することを想定します。エントリがないと、グループへのメールに対し、サイズは制限されません。

この属性は廃止されましたが、後方互換性のため、引き続きサポートされます。この属性の代わりに、mailMsgMaxBlocks を使用してください。

**例**

```
mgrpMsgMaxSize=8000
```

OID  
2.16.840.1.113730.3.1.3

## mgrpMsgPrefixText

初出  
実装されていません。

構文  
UTF-8 テキスト、single-valued

オブジェクトクラス  
inetMailGroup

定義  
メッセージテキストの先頭に追加されるテキストを指定します。書式を指定する必要があります。つまり、テキスト内で書式を指定する場所に CRLF を挿入する必要があります。

この属性は、imsimta dirsyntax オプションではなく、直接 LDAP モードにだけ作用します。

例

OID  
TBD

## mgrpMsgRejectAction

初出  
iPlanet Messaging Server 5.0

構文  
cis、single-valued

オブジェクトクラス  
inetMailGroup

定義  
予約済

例

OID  
2.16.840.1.113730.3.1.28

## mgrpMsgRejectText

初出  
iPlanet Messaging Server 5.0

構文  
cis、single-valued

オブジェクトクラス  
inetMailGroup

定義  
グループアクセスの失敗時に `int` を使用するためのエラーテキストを指定します。このテキストは **SMTP** の応答に現われる可能性があるため、**US-ASCII** の単一行のテキストに制限されます。この属性内の最初のテキスト行だけを読み取り、その中に 8 ビット文字が含まれていない場合にだけ、この属性が実装されます。これは、**SMTP** プロトコルの制限です。

例

OID  
2.16.840.1.113730.3.1.29

## mgrpMsgSuffixText

初出  
実装されていません。

**構文**

UTF-8 テキスト、single-valued

**オブジェクトクラス**

inetMailGroup

**定義**

テキストメッセージに付加されるテキストを指定します。書式を指定する必要があります。つまり、テキスト内に CRLF (キャリッジリターン、ラインフィード) を挿入する必要があります。

この属性は、imsimta dirsync オプションではなく、直接 LDAP モードにだけ作用します。

**例**

OID

TBD

## mgrpNoDuplicateChecks

**初出**

iPlanet Messaging Server 5.0。iPlanet Messaging Server 5.2 に移行できるように実装されていない。

**構文**

cis、single-valued

**オブジェクトクラス**

inetMailGroup

**定義**

この属性は、これ以上サポートされません。重複しているかどうかのチェックは、リスト自体の特徴によって制御されます。結合されるリストもあれば、されないリストもあります。

従来の定義 : Messaging Server に、メールグループのメンバーに重複して配信したかどうかのチェックをさせないようにします。ユーザが複数のリストに登録されている場合は、重複した配信を防ぎます。No を指定すると、システムによって重複配信のチェックが行われます。Yes を指定すると、システムによる重複配信のチェックは行われません。

mgrpRemoveHeader

例

mgrpNoDuplicateChecks=yes

OID

2.16.840.1.113730.3.1.789

## mgrpRemoveHeader

初出

iPlanet Messaging Server 5.0

構文

cis、multi-valued

オブジェクトクラス

inetMailGroup

定義

各属性値で、メッセージヘッダーが存在する場合にメッセージヘッダーから削除するヘッダーフィールドを指定します。

MTA の場合、この属性の値は、ヘッダートリミングの `MAXLINES=-1` オプションを設定するために使用されます。

例

OID

2.16.840.1.113730.3.1.801

## mgrpRequestTo

初出

iPlanet Messaging Server 5.0

構文

ces、multi-valued

オブジェクトクラス

inetMailGroup

**定義**

追加要求のメッセージの受取人を識別する LDAP URL または mailto。この属性で、配布リスト用に新しいエイリアスが生成されます。このエイリアスは、*distribution\_list\_name-request@domain* の形式であり、このエイリアスに送信されたメッセージは、mgrpRequestsTo 内にリストされた受取人へ転送されます。

**例**

mgrpRequestsTo=jordan@sesta.com

**OID**

2.16.840.1.113730.3.1.782

## mgrpRFC822MailMember

**初出**

iPlanet Messaging Server 5.0

**構文**

cis、multi-valued

**オブジェクトクラス**

inetMailGroup

**定義**

メールグループへ送信されるメールの受取人を識別します。この属性と uniqueMember 属性の両方で指定されたメールの受取人は、混合される groupOfUniqueNames のメンバーではありません。この属性は、識別名で表すことのできないメールの受取人、または、このグループからメールを送信されることがあっても一意のグループメンバーの特権を持っていないメールの受取人を表します。Messaging Server では、この属性に RFC 822 のメールアドレスが入ることを想定します。通常は、ローカルディレクトリにないグループメンバーのために使用されます。後方互換性のために rfc822MailMember もサポートされますが、任意の指定グループ内ではこれらの属性のうちの 1 つだけが使用できます。

**例**

mgrpRFC822MailMember=bjensen@siroe.com

**OID**

2.16.840.1.113730.3.1.30

## mnggrpAdditionPolicy

初出

iPlanet Messaging Server 5.0

構文

cis、single-valued

オブジェクトクラス

inetManagedGroup

定義

予約済

例

TBD

OID

2.16.840.1.113730.3.1.710

## mnggrpBillableUser

初出

iPlanet Messaging Server 5.0

構文

DN、single-valued

オブジェクトクラス

inetManagedGroup

定義

このファミリーアカウントまたはユーザのグループの料金を支払う義務があるユーザの DN。

例

mnggrpBillableUser:uid=John,ou=people,o=sesta.com,o=isp

OID

2.16.840.1.113730.3.1.711



## mnggrpCurrentUsers

### 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

### 構文

int、single-valued

### オブジェクトクラス

inetManagedGroup

### 定義

管理グループ内に許可されている現在のユーザ数。この属性は、報告のみを目的としています。操作には何の影響もありません。

### 例

mnggrpCurrentUsers=20

### OID

2.16.840.1.113730.3.1.714

## mnggrpDeletionPolicy

### 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

### 構文

cis、single-valued

### オブジェクトクラス

inetManagedGroup

### 定義

予約済

### 例

TBD

### OID

2.16.840.1.113730.3.1.709

## mnggrpMailQuota

### 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

### 構文

int、single-valued

### オブジェクトクラス

inetManagedGroup

### 定義

管理グループ内のすべてのユーザに許可された累積ディスク割当。値が -1 の場合は、管理グループ内のユーザが使用するディスク容量に制限はありません。この属性は、報告のみを目的としています。操作には何の影響もありません。

### 例

```
mnggrpMailQuota=-1
```

### OID

2.16.840.1.113730.3.1.715

## mnggrpMaxUsers

### 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

### 構文

int、single-valued

### オブジェクトクラス

inetManagedGroup

### 定義

管理グループ内で許可されているユーザの最大数。

### 例

```
30
```

### OID

2.16.840.1.113730.3.1.713

## mnggrpStatus

初出

iPlanet Messaging Server 5.0

構文

cis、single-valued

オブジェクトクラス

inetManagedGroup

定義

予約済

例

TBD

OID

2.16.840.1.113730.3.1.712

## mnggrpUserClassOfServices

初出

iPlanet Messaging Server 5.0

構文

cis、multi-valued

オブジェクトクラス

inetManagedGroup

定義

予約済

例

TBD

OID

2.16.840.1.113730.3.1.716

## msgVanityDomain

### 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

### 構文

cis、single-valued

### オブジェクトクラス

msgVanityDomainUser

### 定義

ユーザに関連するバニティドメイン名。MTAによるルーティングのためにだけ使用されます。ユーザには引き続きアカウントに関連するプライマリドメインがあり、ユーザは、メッセージアクセスサービスにログインするためにそのプライマリドメインを使用します。ただし、この属性によって、ユーザはバニティドメイン名で表されるネームスペースに、電子メールアドレスを持つことができます。バニティドメインの作成方法についての詳細は、『iPlanet Messaging Server プロビジョニングガイド』(<http://docs.iplanet.com/docs/manuals/messaging/ims50/pg/domains.htm#28035>)のバニティドメインの節を参照してください。

### 例

msgVanityDomain=foo.comの場合、ユーザは、ドメイン部分が@foo.comのアドレスを持つことができます。

### OID

2.16.840.1.113730.3.1.799

## multiLineDescription

### 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

### 構文

cis、single-valued

### オブジェクトクラス

inetMailGroupManagement

### 定義

配布リストの詳細な説明。ドル記号 (\$) を入れると、改行されます。

**例**

```
multiLineDescription=People who like cats.$And are ambivalent about people.
```

**OID**

```
1.3.6.1.4.1.250.1.2
```

## nickName

**初出**

```
iPlanet Messaging Server 5.0
```

**構文**

```
cis、single-valued
```

**オブジェクトクラス**

```
pabPerson, pabGroup
```

**定義**

pabPerson または pabGroup エントリを検索するために使用する短い名前を識別します。

**例**

```
nickname=Nick
```

**OID**

```
2.16.840.1.113730.3.1.720
```

## nsDefaultMaxDeptSize

**初出**

```
iPlanet Messaging Server 5.0
```

**構文**

```
int
```

**オブジェクトクラス**

```
nsManagedDomain
```

nsMaxDepts

#### 定義

委任管理者に管理される、新しく作成された部署のデフォルトのサイズを、ユーザ数で指定します。

#### 例

```
nsDefaultMaxDeptSize=20
```

#### OID

```
2.16.840.1.113730.3.1.562
```

## nsMaxDepts

#### 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

#### 構文

```
int
```

#### オブジェクトクラス

```
nsManagedDept, nsManagedDomain
```

#### 定義

このオブジェクトに作成できる、グループエントリの最大数を指定します。

#### 例

```
nsMaxDepts=200
```

#### OID

```
2.16.840.1.113730.3.1.557
```

## nsMaxDomains

#### 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

#### 構文

```
int
```

#### オブジェクトクラス

```
nsManagedDomain
```

**定義**

このオブジェクトに作成することが許可される、下位組織の最大数を指定します。

**例**

```
nsMaxDomains=50
```

**OID**

```
2.16.840.1.113730.3.1.561
```

## nsMaxMailingLists

**初出**

iPlanet Messaging Server 5.0

**構文**

```
int
```

**オブジェクトクラス**

```
nsManagedDomain
```

**定義**

このエントリに作成できる、メーリングリストの最大数を指定します。

**例**

```
nsMaxMailingLists=200
```

**OID**

```
2.16.840.1.113730.3.1.559
```

## nsMaxUsers

**初出**

iPlanet Messaging Server 5.0

**構文**

```
int
```

**オブジェクトクラス**

```
nsManagedDept
```

nsNumDepts

#### 定義

このエントリに作成できる、ユーザの最大数を指定します。

#### 例

```
nsMaxUsers=750
```

#### OID

```
2.16.840.1.113730.3.1.555
```

## nsNumDepts

#### 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

#### 構文

```
int
```

#### オブジェクトクラス

```
nsManagedDept, nsManagedDomain
```

#### 定義

このオブジェクト下に存在する入れ子になっている部署数を追跡します。

#### 例

```
nsNumDepts=35
```

#### OID

```
2.16.840.1.113730.3.1.556
```

## nsNumDomains

#### 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

#### 構文

```
int
```

#### オブジェクトクラス

```
nsManagedDomain
```



**定義**

このオブジェクト下に存在する下位組織の数を追跡します。

**例**

nsNumDomains=5

**OID**

2.16.840.1.113730.3.1.560

## nsNumMailLists

**初出**

iPlanet Messaging Server 5.0

**構文**

int

**オブジェクトクラス**

nsManagedDomain

**定義**

このオブジェクト下に存在するメールリストの数を追跡します。

**例**

nsNumMailLists=200

**OID**

2.16.840.1.113730.3.1.558

## nsNumUsers

**初出**

iPlanet Messaging Server 5.0

**構文**

int

**オブジェクトクラス**

nsManagedDept, nsManagedDomain

**定義**

このオブジェクトに作成できるユーザの数を追跡します。

**例**

nsNumUsers=2000

**OID**

2.16.840.1.113730.3.1.554

## nsdaCapability

**初出**

iPlanet Messaging Server 5.0

**構文**

cis、single-valued

**オブジェクトクラス**

nsManagedPerson

**定義**

ユーザがメールリストを作成できるかどうかを指定します。

**例**

**OID**

2.16.840.1.113730.3.1.563

## nsdaDomain

**初出**

iPlanet Messaging Server 5.0

**構文**

cis、single-valued

**オブジェクトクラス**

nsManagedPerson

**定義**

ユーザの組織を指定します。

**例****OID**

2.16.840.113730.3.1.600

## nsdaModifiableBy

**初出**

iPlanet Messaging Server 5.0

**構文**

DN、single-valued

**オブジェクトクラス**

inetManagedGroup, nsManagedDept, nsManagedDomain

**定義**

この属性が現われているオブジェクトの変更アクセス権を持つユーザを指定します。ほかのグループを管理する権限を与えるために ACI とともに使用される管理者グループの DN です。

**例**

nsdaModifiableBy=cn=service administrators, ou=group, o=isp

**OID**

2.16.840.1.113730.3.1.565

## nswmExtendedUserPrefs

### 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

### 構文

cis、multi-valued

### オブジェクトクラス

inetMailUser

### 定義

この属性は、「送信元」アドレスの並び順など Messenger Express の設定を定義するペ  
アを保持します。この属性の各インスタンスは、*pref\_name=pref\_value* のタプルです。  
これは独自の構文であり、次の例は、この属性の説明のみを目的とします。

### 例

例 1: nswmExtendedUserPrefs=meColorSet=4

例 2: nswmExtendedUserPrefs=meSort=r

例 3: nswmExtendedUserPrefs=meAutoSign=True

例 4: nswmExtendedUserPrefs=meSignature=Otis  
Fanning\$ofanning@sesta.com

例 5: nswmExtendedUserPrefs=meDraftFolder=Drafts

### OID

2.16.840.1.113730.3.1.520

## 0

### 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

### 構文

cis、single-valued

### オブジェクトクラス

pabPerson

### 定義

ユーザが所属する会社または組織の名前。これは、「organizationName」の省略形  
です。

例

```
organizationName=Company22 Incorporated
```

または

```
o = Company22 Incorporated
```

OID

2.5.4.10

## objectClass

初出

iPlanet Messaging Server 5.0

構文

cis

オブジェクトクラス

inetAdmin, nsManagedDept

定義

このオブジェクトクラスのオブジェクトを指定します。

例

```
objectClass = person
```

OID

2.5.4.0

## organizationName

初出

iPlanet Messaging Server 5.0

構文

cis、single-valued

オブジェクトクラス

pabPerson

organizationUnitName (「ou」を参照)

**定義**

ユーザが所属する会社または組織の名前。

**例**

organizationName = Company22 Incorporated

**OID**

2.5.4.10

## organizationUnitName (「ou」を参照)

### ou

**初出**

iPlanet Messaging Server 5.0

**構文**

cis、single-valued

**オブジェクトクラス**

pabPerson

**定義**

ユーザが所属する組織単位の名前。organizationalUnitName の省略形。

**例**

organizationUnitName=ou=docs

**OID**

2.16.840.1.113730.3.1.722

### owner

**初出**

iPlanet Messaging Server 5.0

**構文**

DN、single-valued

**オブジェクトクラス**

inetManagedGroup

**定義**

エントリーに対して管理権限を持つユーザまたはグループの識別名 (DN) を識別します。

**例**

**owner=** cn=John Smith, o=iPlanet, c=US

**OID**

2.5.4.32

## pabURI

**初出**

iPlanet Messaging Server 5.0

**構文**

cis、single-valued

**オブジェクトクラス**

ipUser

**定義**

このユーザ用の個人アドレスブックのエントリーのコンテナを指定する LDAP URI。「ldap://server:port/container\_dn」の形式をとり、次のように定義されます。

- *server* - 個人アドレスブックの LDAP サーバのホスト名。
- *port* - 個人アドレスブックの LDAP サーバのポート。
- *container\_dn* - ユーザ用のすべての PAB エントリが作成されるサブツリーの DN。

**例**

pabURI=ldap://ldap.siroe.com:389/ou=ed,ou=people,o=sesta.com,o=isp,o=pab

**OID**

2.16.840.1.113730.3.1.703

## postalAddress

初出  
LDAP

構文  
cis

オブジェクトクラス  
icsCalendarResource

### 定義

エントリのメーリングアドレスを識別します。このフィールドには複数行を含めることができます。LDIF フォーマットで表す場合、各行はドル記号 (\$) で区切る必要があります。

テキスト内で実際のドル記号 (\$) や円記号 (¥) を表す場合は、それぞれ \24 と \5c の 16 進数値でエスケープしてください。たとえば、次の文字列を表すとします。

```
The dollar ($) value can be found  
in the c:\cost file.
```

実際に指定する文字列は、次のようになります。

```
The dollar(\24) value can be found$in the c:\5ccost file.
```

### 例

```
postalAddress = 123 Oak Street$Anytown, CA$90101
```

OID  
2.5.4.16



## preferredLanguage

### 初出

iPlanet Messaging Server 5.0, iPlanet Calendar Server 5.1

### 構文

RFC 2798、cis、single-valued

### オブジェクトクラス

icsCalendarUser, mailDomain, inetMailGroup

### 定義

優先されるユーザの書き言葉または話し言葉。この属性の値は、HTTP Accetp t-Language ヘッダー値の構文に準拠していなければなりません。

### 例

```
preferredLanguage = fr, en-gb;q=0.8, en;q=0.7
```

### OID

2.16.840.1.113730.3.1.39

## preferredMailHost

### 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

### 構文

cis、single-valued

### オブジェクトクラス

mailDomain

### 定義

このメールアドレス内に新しく作成されたユーザとグループの mailHost 属性を設定するために、Delegated Administrator によって使用されます。

### 例

```
preferredMailHost=mail.siroe.com
```

### OID

2.16.840.1.113730.3.1.761

## preferredMailMessageStore

### 初出

iPlanet Messaging Server 5.0

### 構文

cis、single-valued

### オブジェクトクラス

mailDomain

### 定義

新しく作成されたユーザの mailMessageStore 属性を設定するために、Delegated Administrator for Messaging によって使用されます。値がない場合、Delegate Administrator は mailMessageStore 属性を空のまま残し、アクセスサーバは、ユーザのメールボックスがサーバインスタンスのデフォルトのパーティションにあるとみなします。

### 例

primary

### OID

2.16.840.1.113730.3.1.762

## seeAlso

### 初出

LDAP

### 構文

dn

### オブジェクトクラス

groupOfUniqueNames

### 定義

このエントリに関連する情報を含んでいる可能性のある別の LDAP エントリを識別します。

例

```
seeAlso=cn=Quality Control Inspectors, ou=manufacturing,  
o=Company22, c=US
```

OID

2.5.4.34

## sn

初出

LDAP

構文

cis

オブジェクトクラス

icsCalendarUser

定義

姓または家族名とも言われる、エントリの苗字を識別します。

例

```
surname:jones
```

OID

2.5.4.4

## telephoneNumber

初出

LDAP

構文

tel

オブジェクトクラス

domain

定義

エントリの電話番号を識別します。

uid

例

telephoneNumber = 800-555-1212

OID

2.5.4.20

## uid

初出

LDAP

構文

cis、single-valued

オブジェクトクラス

icsCalendarResource, icsCalendarUser

定義

エントリのユーザ ID を識別します。これは、「userid」の省略形です。

例

userid = jdoe

または

uid = jdoe

OID

0.9.2342.19200300.100.1.1

## un

初出

iPlanet Messaging Server 5.0

構文

cis、single-valued

オブジェクトクラス

pabPerson, pabGroup, pab

**定義**

PAB エントリに割り当てられた一意の名前。これもこのオブジェクトクラスによって作成されるエントリのために名前をつける属性であり、エントリのタイプ (pab、pabPerson、または pabGroup) に関係なく、すべての PAB エントリの DN を形成するために使用されます。

**例**

un=Nick

**OID**

2.16.840.1.113730.3.1.717

## uniqueMember

**初出**

iPlanet Messaging Server 5.0

**構文**

dn

**オブジェクトクラス**

groupOfUniqueNames

**定義**

名前の一意性を確実にするために、各名前に uniqueIdentifier が指定された名前のグループのメンバーを識別します。uniqueMember 属性の値は、uniqueIdentifier が続く DN です。(uniqueIdentifiers は、DN が再使用されたときにサーバによって割り当てられます。削除済み DN への参照インスタンスを検出することが目的です。

**例**

次の例で、uniqueIdentifier は AAAAAA です。

uniqueMember=cn=Jane Doe, ou=Quality Control, o=Company22, AAAAAA

**OID**

2.5.4.50

userid (「uid」を参照)

## userid (「uid」を参照)

### userPassword

初出  
LDAP

構文  
bin、single-valued

オブジェクトクラス  
domain

#### 定義

この属性で、エントリのパスワードと次の形式の暗号化方法を識別します。

`{encryption method}encrypted password`

基盤とするトランスポートサービスが機密性を保証できないならば、クリアテキストのパスワードを送信することはお勧めできません。クリアテキストを送信すると、承認されていないパーティーにパスワードが公開されてしまう可能性があります。

#### 例

`userPassword={sha}FTSLQhxXpA05`

OID  
2.5.4.35

### vacationEndDate

初出  
iPlanet Messaging Server 5.0

構文  
cis、single-valued

オブジェクトクラス  
userPresenceProfile

**定義**

休暇終了日時。日付の形式は、YYYYMMDDHHMMSSZ です。YYYY は 4 桁の西暦年、MM は 2 桁の月、DD は 2 桁の日、HH は 2 桁の時間、SS は 2 桁の秒です。時間は GMT を標準にしています。Z は、文字 Z です。

**例**

```
vacationEndDate=20000220000000Z
```

**OID**

```
2.16.840.1.113730.3.1.708
```

## **vacationStartDate**

**初出**

iPlanet Messaging Server 5.0

**構文**

cis、single-valued

**オブジェクトクラス**

userPresenceProfile

**定義**

休暇開始日時。日付の形式は、YYYYMMDDHHMMSSZ です。YYYY は 4 桁の西暦年、MM は 2 桁の月、DD は 2 桁の日、HH は 2 桁の時間、SS は 2 桁の秒です。時間は GMT を標準にしています。Z は、文字 Z です。

**例**

```
vacationStartDate=20000215000000Z
```

**OID**

```
2.16.840.1.113730.3.1.707
```

vacationStartDate



# 一般的な情報

この付録には、次の項目があります。

- LDAP の概要
- 属性の構文
- オブジェクトの識別子
- ISO 8601 タイムゾーン

## LDAP の概要

iPlanet Messaging and Collaboration 製品には、LDAP (Lightweight Directory Access Protocol) によって定義されたオブジェクトクラスと属性、および、iPlanet と IETF (Internet Engineering Task Force) が開発した、LDAP の基本機能を拡張する標準 LDAP スキーマに対する拡張機能が含まれています。

LDAP は、当初ミシガン大学で開発された、X.500 ディレクトリアクセスプロトコルの軽量版です。LDAP は、TCP/IP 上で実行されるディレクトリサービスのインターネット標準となっています。

1 つまたは複数の LDAP サーバには、LDAP ディレクトリを作成するデータが含まれています。LDAP ディレクトリには、階層構造になったオブジェクト指向のエントリ形式で、情報が格納されます。各エントリは、識別名、つまり DN で一意に識別されます。DN は、カンマで区切られた一連の属性と、ディレクトリ情報ツリー内のエントリの位置を一意に指定する値から構成されます。この値は、ディレクトリ階層の最上位までエントリをたどることのできるパス名です。

## 属性の構文

ディレクトリデータは、属性とその値のペアで表わされます。個々の情報は、記述属性に関連付けられています。

各属性には、対応するシンタックスが定義されています。シンタックスの定義は、その属性が提供する情報のタイプを示します。

表 A-1

シンタックスの種類	省略形	定義
Binary (バイナリ)	bin	属性値はバイナリ
Boolean (ブール代数值)	boolean	「Yes」または「No」、「True」または「False」、オンまたはオフなど、2つの値が可能
Case Exact String (英大小文字を区別する文字列)	ces	値は英大小文字の区別が必要
Case Ignore String (英大小文字を区別しない文字列)	cis	値は英大小文字の区別をしない
Telephone (電話番号)	tel	電話番号 (cis と同じだが、空白とダッシュ (-) が無視される)
Distinguished Name (識別名)	dn	値が DN であることを示す
Integer (整数)	int	値は数値である
Operational (操作)	operational	検索結果に表示されない

各オブジェクトクラスに必須の属性および使用可能な属性については、オブジェクトクラスのリストに含まれています。

特に説明のないかぎり、属性には複数の値を指定できます。つまり、1つ以上の属性インスタンスを指定できます。単一の値の属性、つまり属性インスタンスを1つだけしか指定できない属性は、各属性の定義にある「シンタックス」のヘッダーにそのように記述してあります。

# オブジェクトの識別子

LDAP および X.500 の標準に準拠するために、すべての属性およびオブジェクトクラスにオブジェクト識別子 (OID) が割り当てられています。OID は整数の連なりであり、通常、ドットで区切った文字列です。OID により、オブジェクト名または属性名を標準規格委員会に最初に申請した者を識別します。

たとえば、Netscape で定義されるすべての属性のベース OID は 2.16.840.1.113370.3.1 であり、Netscape で定義されるすべてのオブジェクトクラスのベース OID は 2.16.840.1.113730.3.2 です。

このマニュアルに記載されているオブジェクトおよび属性の中には、まだ OID が割り当てられていないものもあります。

## ISO 8601 タイムゾーン

次の 92 のタイムゾーンがあります。

Africa/Amman  
Africa/Cairo  
Africa/Casablanca  
Africa/Johannesburg  
Africa/Lagos  
Africa/Tripoli  
Africa/Windhoek  
America/Adak  
America/Anchorage  
America/Buenos\_Aires  
America/Caracas  
America/Chicago  
America/Costa\_Rica  
America/Cuiaba  
America/Denver  
America/Godthab  
America/Grand\_Turk  
America/Halifax  
America/Havana  
America/Indianapolis  
America/Los\_Angeles  
America/Miquelon  
America/New\_York  
America/Phoenix  
America/Port-au-Prince

America/Santiago  
America/Sao\_Paulo  
America/St\_Johns  
Asia/Alma-Ata  
Asia/Anandyr  
Asia/Aqtau  
Asia/Aqtobe  
Asia/Baku  
Asia/Bangkok  
Asia/Beirut  
Asia/Bishkek  
Asia/Calcutta  
Asia/Dacca  
Asia/Irkutsk  
Asia/Jerusalem  
Asia/Kabul  
Asia/Kamchatka  
Asia/Karachi  
Asia/Katmandu  
Asia/Krasnoyarsk  
Asia/Magadan  
Asia/Novosibirsk  
Asia/Rangoon  
Asia/Riyadh  
Asia/Shanghai  
Asia/Tehran  
Asia/Tokyo  
Asia/Ulan\_Bator  
Asia/Vladivostok  
Asia/Yakutsk  
Asia/Yekaterinburg  
Asia/Yerevan  
Atlantic/Azores  
Atlantic/Cape\_Verde  
Atlantic/South\_Georgia  
Atlantic/Stanley  
Australia/Adelaide  
Australia/Brisbane  
Australia/Darwin  
Australia/Hobart  
Australia/Lord\_Howe  
Australia/Sydney  
Europe/Bucharest  
Europe/Istanbul z  
Europe/London

Europe/Minsk  
Europe/Moscow  
Europe/Paris  
Europe/Riga

Europe/Samara  
Europe/Simferopol  
Europe/Warsaw  
Pacific/Apia  
Pacific/Auckland  
Pacific/Chatham  
Pacific/Easter  
Pacific/Fiji  
Pacific/Gambier  
Pacific/Guadalcanal  
Pacific/Honolulu  
Pacific/Kiritimati  
Pacific/Marquesas  
Pacific/Norfolk  
Pacific/Noumea  
Pacific/Pitcairn  
Pacific/Rarotonga  
Pacific/Tongatapu



# 用語集

**Administration Server 管理者 (administration server administrator)** Directory Server に接続していない場合でも、サーバの起動および停止を行う管理権限を持つユーザ。Administration Server 管理者は、ローカルサーバグループ内のすべてのサーバに対する制限されたサーバに関する作業 (通常はサーバの再起動と停止のみ) を実行できます。Administration Server をインストールすると、この管理者のエントリが自動的にローカルに作成されます (この管理者はユーザディレクトリ内のユーザではありません)。

**alias** 電子メールアドレスの別名。

**AUTH** SMTP コマンドの 1 つ。SMTP クライアントがサーバに対して認証方法を指定したり、認証プロトコル交換を実行したり、必要に応じて次に続くプロトコルの相互対話で使用するセキュリティ層をネゴシエートしたりできるようにします。

**CLI** コマンドラインインタフェース。

**cn (common name)** 共通名を表す LDAP エイリアス。

**CNAME レコード (CNAME record)** ドメイン名のエイリアスをドメイン名にマップする DNS レコードの一種。

**Configuration Directory Server** 単一サーバまたはサーバのセットの構成情報を保持する Directory Server。

**DC ツリー (DC Tree)** ドメインコンポーネントツリー。DNS ネットワーク構造を反映するディレクトリ情報ツリー。DC ツリー内の識別名は、`cn=billbob,dc=bridge,dc=net,o=internet` のようになります。

**Delegated Administrator for Messaging and Collaboration** ドメイン管理者がホストドメインに対してユーザやグループの追加または変更を行うために使用する一連のインタフェース (GUI とユーティリティ)。

**Directory Manager** ディレクトリサーバデータベースの管理権限を持つユーザ。アクセス制御は、このユーザには適用されません。Directory Manager はディレクトリのスーパーユーザと考えることができます。

**Directory Server** LDAP に基づく iPlanet のディレクトリサービス。ディレクトリサービス、**Lightweight Directory Access Protocol**、**Configuration Directory Server**、**Users and Groups Directory Server** も参照してください。

**DIT** ディレクトリ情報ツリーを参照してください。

**DN** 識別名を参照してください。

**dn** 識別名のための LDAP エイリアス。識別名も参照してください。

**DNS** ドメインネームシステムを参照してください。

**DNS エイリアス (DNS alias)** DNS サーバが、別のホストを指すものとして認識するホスト名 (DNS の CNAME レコードで記述)。マシンの実際の名前は 1 つだけですが、1 つまたは複数のエイリアスを持つことができます。たとえば、`www.siroe.domain` を現在サーバが置かれている `realthing.siroe.domain` という実際のマシンを指すエイリアスとすることができます。

**DNS データベース (DNS database)** ドメイン名 (ホスト名) および対応する IP アドレスのデータベース。

**DNS ドメイン (DNS domain)** 共通の接尾辞 (ドメイン名) の付いたホスト名を持つコンピュータのグループ。構文的には、ピリオド (ドット) で区切られた一連の名前 (ラベル) から成るインターネットドメイン名です。たとえば `corp.mktng.siroe.com` などです。ドメインも参照してください。

**GUI** グラフィカルユーザインタフェース。

**INBOX** メール配信用のユーザのデフォルトメールボックス用に予約されている名前。INBOX は、大文字と小文字が区別されない唯一のフォルダ名です。たとえば、INBOX、Inbox、inbox は、すべてユーザのデフォルトのメールボックスとして有効な名前です。

**IP** インターネットプロトコルを参照してください。

**IP アドレス (IP address)** 198.93.93.10 のような、ドットで区切られた一連の数値で、イントラネットまたはインターネット上でのマシンの実際の場所を示します。TCP/IP を使用するホストには、32 ビットアドレスが割り当てられます。

**LDAP** **Lightweight Directory Access Protocol** を参照してください。

**LDAP Data Interchange Format (LDIF)** Directory Server (ディレクトリサーバ) エントリをテキスト形式で表すために使用する形式。



**LDAP 検索文字列 (LDAP search string)** ディレクトリ検索に使用される属性を定義する、置換可能なパラメータを含む文字列。たとえば、「uid=%s」という LDAP 検索文字列は、ユーザ ID 属性に基づく検索であることを意味します。

**LDAP サーバ (LDAP Server)** LDAPディレクトリを管理し、そのディレクトリに対するクエリー (問い合わせ) サービスを提供するソフトウェアサーバ。iPlanet Directory Services は LDAP サーバの実装です。

**LDAP レフェラル (LDAP referrals)** 別の LDAP エントリへのシンボリックリンク (レフェラル) から成る LDAP エントリ。LDAP レフェラルは、LDAP ホスト名と識別名で構成されます。通常、LDAP レフェラルは、データを複製せずに、既存の LDAP データを参照するために使用されます。また、移動される可能性のある特定のエンタリに依存するプログラムの互換性を維持するためにも使用されます。

**LDAP フィルタ (LDAP filter)** 特定の属性または属性値の有無に基づいて一連のエンタリを指定する方法。

**LDBM** LDAP Data Base Manager の略。

**LDIF** LDAP Data Interchange Format を参照してください。

**Lightweight Directory Access Protocol (LDAP)** TCP/IP を介して複数のプラットフォーム上で実行できるように設計されたディレクトリサービスプロトコル。X.500 Directory Access Protocol (DAP) を簡素化したもので、ユーザプロフィール、メールリスト、複数の iPlanet サーバ上の設定データなどの情報の格納、検索、および配布を単一の場所で管理できるようにします。iPlanet Directory Server は、LDAP プロトコルを使用します。

**Messaging Server 管理者 (Messaging Server administrator)** iPlanet Messaging Server インスタンスのインストールや管理を含む権限を持つ管理者。

**OID** 「オブジェクト識別子 (OID) (*object identifier*)」を参照。

**OSI ツリー (OSI tree)** Open Systems Interconnect (開放型システム間相互接続) ネットワーク構文を反映するディレクトリ情報ツリー。OSI ツリー内の識別名は、cn=billt,o=bridge,c=us のようになります。

**RDN** 相対識別名。実際のエンタリ自体の名前。この文字列にエンタリの祖先を付加すると完全な識別名になります。

**RFC** Request For Comments の略。1969 年に開始されたドキュメントシリーズで、インターネットの一連のプロトコルと、関連する実験について記述されています。インターネット標準について記述した RFC の数はわずかですが、すべてのインターネット標準が RFC として公開されています。<http://www.imc.org/rfc.html> を参照。

**Sieve** メールのフィルタリング言語。

**SIMS** Sun Internet Mail Server の略。

**sn** 苗字を表すエイリアスディレクトリ属性。

**TCP** **Transmission Control Protocol** を参照してください。

**TCP/IP** **Transmission Control Protocol/Internet Protocol** を参照してください。

**Transmission Control Protocol (TCP)** 2つのホスト間での信頼性の高い接続指向のストリームサービスを提供するインターネットプロトコル群内の基本トランスポートプロトコル。

**Transmission Control Protocol/Internet Protocol (TCP/IP)** インターネットプロトコルで 사용되는複数のネットワークプロトコルの総称。この名前は、トランスポート層のプロトコルである TCP (Transmission Control Protocol) とネットワーク層のプロトコルである IP (Internet Protocol) の2つの主要ネットワークプロトコルを指します。

**UID** (1) ユーザ識別子。システムでユーザを識別するための一意の文字列。ユーザ ID とも呼ばれます。(2) ユーザ ID (ログイン名) のエイリアスディレクトリ属性。

**Users and Groups Directory Server (User/Groups Directory Server)** 組織内のユーザおよびグループに関する情報を保持する Directory Server。

**アカウント (account)** 特定のユーザまたはユーザグループを定義する情報。この情報には、ユーザやグループの名前、1つまたは複数の有効な電子メールアドレス、および電子メールの配信方法と配信先が含まれます。

**アクセス制御 (access control)** サーバ、またはサーバ上のフォルダやファイルへのアクセスを制御する方法。

**アクセス制御規則 (access control rules)** 特定 (指定された) のディレクトリエントリまたは属性のセットに対するユーザの権限を指定する規則。

**アクセス制御情報 (access control information)** アクセス制御リストの単一の情報項目 (ACI)。

**アクセス制御リスト (access control list)** ディレクトリに対するユーザやグループのアクセス権を定義するためにディレクトリに関連付けられた一連のデータ (ACL)。

**アクセスドメイン (access domain)** 指定したドメイン内からの Messaging Server への操作のアクセスを制限します。たとえば、アクセスドメインを使用すると、特定のアカウント宛てのメールを収集できる場所を制限できます。

**インターネット (Internet)** TCP/IP プロトコルを使用する世界規模のネットワーク。

**インターネットプロトコル (IP) (Internet Protocol)** インターネットおよびイントラネットの基礎となる基本ネットワークレイヤープロトコル。

**インターネットプロトコルアドレス (internet protocol address)** IP アドレスを参照してください。

**オブジェクトクラス (object class)** エントリが記述するオブジェクトの種類と、そのエントリに含まれる属性のセットを指定するテンプレート。たとえば、iPlanet Directory Server では、commonname、mail (電子メールアドレス)、mailHost、mailQuota などの属性を持つ emailPerson オブジェクトクラスが記述されます。

**オブジェクト識別子 (OID) (object identifier)** OID は整数の連なりであり、通常、ドットで区切った文字列です。OID は、LSAP および X.500 標準に準拠するように、各属性およびオブジェクトクラスに割り当てられます。

**仮想ドメイン (virtual domain)** (1) ISP ホストドメイン。(2) Messaging Multiplexor によってクライアントのユーザ ID に追加されるドメイン名。LDAP 検索やメールボックスサーバへのログイン。ドメイン、ホストドメインも参照してください。

**完全指定ドメイン名 (FQDN) (fully-qualified domain name)** 特定のインターネットホストを識別する一意の名前。ドメイン名も参照してください。

**管理権限 (administration privileges)** ユーザ管理の役割を定義する一連の権限。

**管理者 (administrator)** 定義済みの一連の管理権限を持つユーザ。構成管理者、Directory Manager、Administration Server 管理者、サーバ管理者、メッセージストア管理者、トップレベル管理者、ドメイン管理者、組織管理者、ファミリーグループ管理者、メールリスト所有者も参照してください。

**管理対象オブジェクト (managed object)** 設定可能な属性の集まり。たとえば、ディレクトリサービスの属性の集まりです。

**管理ドメイン (administration domain)** 管理制御の対象範囲。ドメインも参照してください。

**共有フォルダ (shared folder)** 複数のユーザが読み取り可能なフォルダ。共有フォルダに対しては所有者が指定されます。所有者は、フォルダに対する読み取りアクセス権を指定したり、共有フォルダからメッセージを削除したりできます。共有フォルダにはモデレータを指定することもできます。モデレータは、受信メッセージの編集、ブロック、転送を行うことができます。共有できるのは、IMAP フォルダだけです。個人用フォルダも参照してください。

**グループ (group)** 識別名によって編成された LDAP メールエントリのグループ。通常は、メールリストとして使用されますが、グループのメンバーに特定の管理権限を与えるために使用される場合もあります。動的グループ、静的グループも参照してください。

**検索ベース (search base)** ベース DN を参照してください。

**構成管理者 (configuration administrator)** iPlanet トポロジ全体のサーバおよび構成ディレクトリデータの管理権限を持つユーザ。構成管理者は、iPlanet トポロジ内のすべてのリソースに無制限にアクセスできます。ほかの管理者にサーバアクセス権を割り当てることのできる唯一の管理者です。構成管理者は、管理者グループとそのメンバーが配置されるまで初期の管理構成を管理します。

**個人用フォルダ (personal folder)** 所有者だけが読み取り可能なフォルダ。**共有フォルダ** も参照してください。

**コマンドラインインタフェース (command line interface)** コマンドラインから実行できるコマンド。ユーティリティとも呼ばれます。

**サーバ管理者 (server administrator)** サーバ管理タスクを実行するユーザ。サーバ管理者は、タスク ACI に基づいて、特定のサーバへの作業に制限付きのアクセス権を提供します。構成管理者が、ユーザにサーバへのアクセス権を割り当てる必要があります。サーバへのアクセス権を与えられたユーザは、サーバ管理者となり、サーバへのアクセス権をユーザに与えることができます。

**サブドメイン (subdomain)** ドメインの一部。たとえば、corp.siroe.com というドメイン名では、corp は、ドメイン siroe.com のサブドメインを示します。**ホスト名、完全指定ドメイン名** も参照してください。

**サブネット (subnet)** ホスト ID のブロックを識別する、IP アドレスの一部分。

**レフェラル (referral)** Directory Server が情報要求を送信したクライアントに対し、そのクライアントがその要求に対して通信する必要がある DSA (Directory Service Agent) に関する情報とともに情報要求を返すプロセス。**知識情報** も参照してください。

**識別名 (distinguished name)** ディレクトリ情報ツリー内のエントリの位置を一意に指定する、カンマで区切られた一連の属性と値。通常、DN と略記されます。

**従属参照 (subordinate reference)** ディレクトリサーバによって保持されている名前付きコンテキストの子となる名前付きコンテキスト。**知識情報** も参照してください。

**上位参照 (upper reference)** ディレクトリ情報ツリー (DIT) 内で、ディレクトリサーバの名前付きコンテキストの上位にある名前付きコンテキストを保持するディレクトリサーバを示します。

**使用可能な属性 (allowed attributes)** 特定のオブジェクトクラスを使用するエントリについて指定できるが、必須ではない属性。**属性、必須の属性** も参照してください。

**スキーマ (schema)** iPlanet Directory Server 内にエントリとして格納できる情報のタイプの定義 (構造と構文を含む)。スキーマと一致しない情報がディレクトリに格納されていると、ディレクトリにアクセスするクライアントが適切な結果を表示できない場合があります。

**静的グループ (static group)** 各グループメンバーを列挙することにより静的に定義されたメールグループ。**動的グループ**も参照してください。

**相対識別名 (relative distinguished name) RDN** を参照してください。

**属性 (attributes)** LDAP データは、属性と値のペアとして表されます。個々の情報は、記述属性に関連付けられています。**使用可能な属性、必須の属性**も参照してください。

**組織管理者 (organization administrator)** Delegated Administrator for Messaging and Collaboration の GUI または CLI を使用して、組織またはサブ組織内のメールユーザとメールリストの作成、変更、および削除を行う管理権限を持つユーザ。

**代替アドレス (alternate address)** アカウントの二次的なアドレス。通常はプライマリアドレスを変化させたものです。1つのアカウントに複数のアドレスがあると便利な場合があります。

**知識情報 (knowledge information)** ディレクトリサービスインフラストラクチャ情報の一部。Directory Server は、知識情報を使用して、情報要求をほかのサーバに渡します。

**データストア (data store)** ディレクトリ情報の保存場所。通常はディレクトリ情報ツリー全体の情報が含まれます。

**ディレクトリエントリ (directory entry)** 識別名で特定されるディレクトリ属性とその値のセット。各エントリには、エントリが記述するオブジェクトの種類を指定し、エントリに含まれる属性のセットを定義するオブジェクトクラス属性が含まれています。

**ディレクトリ検索 (directory lookup)** ユーザやリソースの名前またはその他の特性に基づき、ディレクトリ内で特定のユーザやリソースに関する情報を検索するプロセス。

**ディレクトリコンテキスト (directory context)** メッセージストアへのアクセスに対して、ユーザとパスワードの認証に使用するエントリの検索を開始するディレクトリツリー情報内のポイント。**ベース DN** も参照してください。

**ディレクトリサービス (directory service)** 組織内の人材とリソースに関する、論理的に集中化された情報のリポジトリ。**Lightweight Directory Access Protocol** も参照してください。

**ディレクトリ情報ツリー (directory information tree)** ディレクトリエントリを編成する、ツリー状の階層構造。DIT とも呼ばれます。DIT は、DNS (DC ツリー) または Open Systems Interconnect ネットワーク (OSI ツリー) に従って編成できます。

**ディレクトリスキーマ (directory schema)** ディレクトリに保存できるデータを定義する一連の規則。

**同期 (synchronization)** マスターディレクトリサーバによる複製ディレクトリサーバに対するデータの更新。

**動的グループ (dynamic group)** LDAP 検索 URL で定義されるメールグループ。通常、ユーザはディレクトリエントリ内で LDAP 属性を設定することによってグループに参加します。

**トップレベル管理者 (top-level administrator)** Delegated Administrator for Messaging and Collaboration の GUI または CLI を使用して、Messaging Server ネームスペース全体のメールユーザ、メールリスト、ファミリーアカウント、およびドメインの作成、変更、および削除を行うための管理権限を持つユーザ。デフォルトでは、このユーザがトポロジ内のすべてのメッセージサーバに対するメッセージストア管理者となります。

**ドメイン (domain)** 単一のコンピュータシステムの制御下にあるリソース。**管理ドメイン**、**DNS ドメイン**、**ホストドメイン**、**仮想ドメイン**も参照してください。

**ドメインエイリアス (domain alias)** 別のドメインを指すドメインエントリ。ホストドメインはエイリアスを使用することにより、複数のドメイン名を持つことができます。

**ドメイン管理者 (domain administrator)** Delegated Administrator for Messaging and Collaboration の GUI または CLI を使用して、ホストドメイン内のメールユーザ、メールリスト、およびファミリーアカウントの作成、変更、および削除を行うための管理権限を持つユーザ。デフォルトでは、このユーザがトポロジ内のすべてのメッセージサーバに対するメッセージストア管理者となります。

**ドメイン組織 (domain organization)** 組織ツリー内でホストドメインの下にあるサブドメイン。ドメイン組織は、企業内でユーザとグループのエントリを部門別に編成する場合に有用です。

**ドメインネームシステム (DNS) (Domain Name System)** コンピュータが、ネットワークまたはインターネット上のほかのコンピュータをドメイン名で見つけることができるようにする分散型名前解決ソフトウェア。システムは、標準 IP アドレスをホスト名 ([www.siroe.com](http://www.siroe.com) など) に関連付けます。通常、各マシンはこの情報を DNS サーバから取得します。DNS サーバは、ホスト名をインターネットアドレスに変換するための、複製された分散型のデータ照会サービスを提供します。**A レコード**、**MX レコード**、**CNAME レコード**も参照してください。

**ドメインホスティング (domain hosting)** 共有 Messaging Server 上で1つまたは複数のドメインをホストする機能。たとえば、[siroe.com](http://siroe.com) と [sesta.org](http://sesta.org) の両方のドメインを [siroe.net](http://siroe.net) メールサーバ上でホストできます。ユーザは、ホストドメインとの間でメールの送受信を行います。メールサーバの名前は、電子メールアドレスには現われません。

**ドメイン名** (1) 電子メールアドレス内で使用されるホスト名。(2) 管理組織を定義する一意の名前。ドメインにはほかのドメインを含めることができます。ドメイン名は右から左の方向に解釈されます。たとえば、`siroe.com` は、`Siroe Company` のドメイン名であり、かつトップレベルの `com` ドメインのサブドメインです。`siroe.com` ドメインをさらに `corp.siroe.com` などのサブドメインに分割することもできます。**ホスト名**、**完全指定ドメイン名**も参照してください。

**名前解決 (name resolution)** IP アドレスを対応する名前にマップするプロセス。DNS も参照してください。

**名前付きコンテキスト (naming context)** ディレクトリ情報ツリーの特定の接尾辞。DN によって識別されます。iPlanet Directory Server では、特定のタイプのディレクトリ情報が名前付きコンテキストに格納されます。たとえば、`Siroe Corporation` のボストンオフィスのマーケティング部門社員すべてのエントリを格納する名前付きコンテキストは、`ou=mktg,ou=Boston,o=siroe,c=US` のようになります。

**名前付き属性 (naming attribute)** ディレクトリ情報ツリーの識別名の最後の属性。**相対識別名**も参照してください。

**認証 (authentication)** (1) iPlanet Messaging Server に対し、クライアントユーザであることを立証するプロセス。(2) クライアントまたは別のサーバに対し、iPlanet Messaging Server であることを立証するプロセス。

**ネームスペース (namespace)** LDAP ディレクトリのツリー構造。**ディレクトリ情報ツリー**も参照してください。

**ノード (node)** DIT 内のエントリ。

**バインド DN (bind DN)** 操作時に Directory Server に対する認証に使用される識別名。

**バニティドメイン (vanity domain)** 特定のサーバまたはホストドメインではなく、個別のユーザに関連付けられているドメイン名。`MailAlternateAddress` 属性を使用して指定されます。バニティドメインのドメイン名には LDAP エントリがありません。バニティドメインは、個人または小さな組織が、独自のホストドメインをサポートするための管理負荷をかけずに、カスタマイズしたドメイン名を使用する場合に便利です。カスタムドメインとも呼ばれます。

**必須の属性 (required attributes)** 特定のオブジェクトクラスを使用するエントリ内に存在する必要がある属性。**使用可能な属性**、**属性**も参照してください。

**ファミリーグループ管理者 (family group administrator)** ファミリーグループ内のファミリーメンバーの追加と削除を行うための管理権限を持つユーザ。このユーザは、グループのほかのメンバーにファミリーグループ管理アクセス権を与えることができます。

**複製ディレクトリサーバ (replica directory server)** データのすべてまたは一部のコピーを受けとるディレクトリ。

**プロトコル (protocol)** 情報を交換する2つ以上のシステムが従う必要がある規則と、交換されるメッセージに関する公式の記述。

**プロビジョニング (provisioning)** iPlanet Directory Server のエントリを追加、変更、または削除するプロセス。これらのエントリには、ユーザ、グループ、およびドメイン情報が含まれます。

**ベース DN (base DN)** 検索が開始されるディレクトリ内の識別名エントリ。検索ベースとも呼ばれます。例: ou=people, o=siroe.com

**ポート番号 (port number)** ホストマシン上の個々の TCP/IP アプリケーションを指定する番号。転送されるデータの宛先を提供します。

**ホスト (host)** 1つ以上のサーバが置かれているマシン。

**ホストドメイン (hosted domain)** ISP にアウトソースされた電子メールドメイン。ISP は、企業の電子メールサービスを運営および管理し、その企業の電子メールドメインのホスティングを提供します。ホストドメインは、ほかのホストドメインと同一の Messaging Server ホストを共有します。初期の LDAP ベースの電子メールシステムでは、1つのドメインが1つまたは複数の電子メールサーバホストによってサポートされていました。Messaging Server では、複数のドメインを単一のサーバでホストできます。各ホストドメインには、そのドメインのユーザとグループのコンテナを指す LDAP エントリがあります。ホストドメインは、仮想ホストドメインまたは仮想ドメインとも呼ばれます。**ドメイン**、**仮想ドメイン**も参照してください。

**ホスト名 (host name)** ドメイン内の特定マシンの名前。ホスト名は、IP ホスト名です。IP ホスト名としては、「短縮形」のホスト名 (mail など) または完全指定ホスト名が使用されます。完全指定ホスト名は、ホスト名とドメイン名の2つの部分から成ります。たとえば、mail.siroe.com は、ドメイン siroe.com 内のマシン mail を表します。ホスト名は、ドメイン内で一意にする必要があります。異なるサブドメイン内にある場合は、組織は、mail という名前を付けた複数のマシンを持つことができます。たとえば、mail.corp.siroe.com と mail.field.siroe.com を使用できます。ホスト名は、常に、特定の IP アドレスにマップされます。**ドメイン名**、**完全指定ドメイン名**、**IP アドレス**も参照してください。

**マスターディレクトリサーバ (master directory server)** 複製されるデータを含むディレクトリサーバ。

**メールボックス (mailbox)** メッセージの格納と表示を行う場所。**フォルダ**も参照してください。

**メールリスト (mail list)** 電子メールアドレスのリスト。メールリストのアドレスを指定することによってリストの電子メールアドレス宛てにメッセージを送信できます。「グループ」とも呼ばれます。



**メールリスト所有者 (mail list owner)** メールリストのメンバーの追加と削除を行う管理権限を持つユーザ。

**メッセージ割当 (message quota)** 特定のフォルダが消費できるディスク容量を定義する制限。

**メンバー (member)** メールリスト宛での電子メールのコピーを受け取るユーザまたはグループ。メールリスト、エキスパンド、モデレータ、所有者も参照してください。

**ユーザアカウント (user account)** サーバにアクセスするためのアカウント。ディレクトリサーバ上のエン트리として管理されます。

**ユーザエン트리またはユーザプロフィール (user entry or user profile)** 各ユーザに関する必須および任意の情報を記述するフィールド。識別名、氏名、役職、電話番号、ポケベルの番号、ログイン名、パスワード、ホームディレクトリなどがあります。

**ユーザ割当 (user quota)** 電子メールメッセージ用にユーザに割り当てられる容量で、システム管理者によって設定されます。

**ユーザフォルダ (user folders)** ユーザの電子メールのメールボックス。

**リバース DNS 検索 (reverse DNS lookup)** 数値 IP アドレスを等価な完全指定ドメイン名に解釈するために DNS に照会するプロセス。

**ルートエン트리 (root entry)** ディレクトリ情報ツリー (DIT) 階層のトップレベルのエン트리。

**ローカル部分 (local part)** 電子メールアドレスの受取人を識別する部分。「ドメイン部分」も参照。



# 索引

## A

adminRole、属性、47

## B

businessCategory、属性、47

## C

calCalURI、属性、48

calFBURL、属性、48

cn、属性、49

commonName、属性、50

countryName、属性、50

co、属性、50

## D

daemon\_list、82

dataSource、属性、51

dateOfBirth、属性、51

dc (domain component)

ドメインコンポーネントノード、69

dc (domain component)、属性、52

description、属性、52

domainUIDSeparator、属性、53

domain、オブジェクトクラス、17

domOrgMaxUsers、属性、54

domOrgNumUsers、属性、54

## F

facsimileTelephoneNumber、属性、55

## G

givenName、属性、55

groupOfUniqueNames、オブジェクトクラス、18

## I

icsAlias、属性、56

icsCalendarResource、オブジェクトクラス、18

icsCalendarUser、オブジェクトクラス、19

icsCalendar、属性、56  
icsCapacity、属性、57  
icsContact、属性、57  
icsDefaultAccess、属性、58  
icsDefaultSet、属性、58  
icsExtendedResourcePrefs、属性、59  
icsExtendedUserPrefs、属性、60  
icsExtended、属性、59  
icsFirstDay、属性、63  
icsFreeBusy、属性、64  
icsGeo、属性、64  
icsPartition、属性、65  
icsPreferredHost、属性、65  
icsQuota、属性、66  
icsSet、属性、66  
icsStatus、属性、68  
icsSubscribed、属性、68  
icsTimezone、属性、69  
inetAdmin、オブジェクトクラス、19  
inetCanonicalDomainName、属性、69  
inetCOS ( サービスクラス )、属性  
    COS の定義、70  
inetDomainAlias、オブジェクトクラス、21  
inetDomainAuthInfo、オブジェクトクラス、21  
inetDomainBaseDN、属性、71  
inetDomainCertMap、71  
inetDomainCertMap、属性、71  
inetDomainOrg、オブジェクトクラス、22  
inetDomainSearchFilter、属性、72  
inetDomainStatus、属性、73  
inetDomain、オブジェクトクラス、20  
inetLocalMailRecipient、オブジェクトクラス、23  
inetMailAdministrator、オブジェクトクラス、24  
inetMailGroup  
    mgrpDisallowedDomain による接続、120  
inetMailGroupManagement、オブジェクトクラス  
    、25  
inetMailGroupStatus、属性、74  
inetMailGroup、オブジェクトクラス、24

inetMailUser、オブジェクトクラス、26  
inetManagedGroup、オブジェクトクラス、27  
inetResourceStatus、属性、75  
inetResource、オブジェクトクラス、27  
inetSubscriberAccountId、75  
inetSubscriberAccountId、属性、75  
inetSubscriberChallenge、属性、76  
inetSubscriberResponse、属性、76  
inetSubscriber、オブジェクトクラス、28  
inetUserHttpURL、属性、77  
inetUserStatus、属性、78  
inetUser、オブジェクトクラス、29  
ipUser、オブジェクトクラス、29  
ISO 8601 タイムゾーン、155

## L

LDAP の概要、153

## M

mailAccessProxyPreAuth、属性、79  
mailAccessProxyReplay、属性、80  
mailAdminRole、属性、81  
mailAllowedServiceAccess  
    mailDomainStatus による接続、95  
mailAllowedServiceAccess、属性、82  
mailAlternateAddress、属性、83  
mailAutoReplyMode、属性  
    自動返信、83  
mailAutoReplySubject、属性、84  
mailAutoReplyText  
    自動返信モードのメールへの接続、84  
mailAutoReplyTextInternal  
    自動返信モードのメールへの接続、84  
mailAutoReplyTextInternal、属性、85  
mailAutoReplyText、属性、85

mailAutoReplyTimeOut、属性、86  
mailClientAttachmentQuota、86  
mailClientAttachmentQuota、属性、86  
mailConversionTag、属性、87  
mailDeferProcessing、属性、87  
mailDeliveryFileURL、属性、88  
mailDeliveryOption、89  
    mailDeliveryOption=forward、97  
    mailDeliveryOption=program、100  
mailDeliveryOption、属性  
    mailDeliveryOption=file、88  
mailDomainAllowedServiceAccess  
    mailDomainStatus による接続、95  
mailDomainAllowedServiceAccess、属性、90  
mailDomainMsgMaxBlocks、属性、92  
mailDomainMsgQuota、92  
mailDomainMsgQuota、属性、92  
mailDomainStatus、属性、94  
mailDomainWelcomeMessage、属性、96  
mailDomain、オブジェクトクラス、30  
mailEquivalentAddress、属性、96  
mailForwardingAddress、属性、97  
mailHost  
    設定、145  
mailHost、属性、98  
mailMessageStore  
    設定、146  
mailMessageStore、属性、98  
mailMsgMaxBlocks、属性、99  
mailMsgQuota、属性、99  
mailProgramDeliveryInfo、属性、100  
mailQuota、101  
mailQuota、属性、101  
mailRejectText、属性、101  
mailRoutingAddress、属性、102  
mailRoutingHosts、属性、102  
mailRoutingSmartHost、属性、103  
mailSieveRuleSource、属性、104  
mailSMTPSubmitChannel、属性、105  
mailto のシンタックス、121  
mailUserStatus、属性、106  
mail、属性、79  
maxPabEntries、属性、107  
memberOfManagedGroup、属性、108  
memberOfPABGroup、属性、109  
memberOfPAB、属性、109  
memberOf、属性、108  
memberURL、属性、110  
mgmanAllowSubscribe、属性、110  
mgmanDenySubscribe、属性、111  
mgmanGoodbyeText、属性、111  
mgmanHidden、属性、112  
mgmanIntroText、属性、112  
mgmanJoinability、属性、113  
mgmanMemberVisibility、属性、114  
mgmanVisibility、属性、115  
mgrpAddHeader、属性、115  
mgrpAllowedBroadcaster、属性、116  
mgrpAllowedDomain、属性、116  
mgrpAuthPassword、属性、117  
mgrpBroadcasterPolicy、属性、118  
mgrpDeliverTo、属性、118  
mgrpDisallowedBroadcaster、属性、119  
mgrpDisallowedDomain、属性、120  
mgrpErrorsTo、属性、121  
mgrpModerator、属性、121  
mgrpMsgMaxSize、属性、122  
mgrpMsgPrefixText、属性、123  
mgrpMsgRejectAction、属性、123  
mgrpMsgRejectText、属性、124  
mgrpMsgSuffixText、属性、124  
mgrpNoDuplicateChecks、属性、125  
mgrpRemoveHeader、属性、126  
mgrpRequestTo、属性、126  
mgrpRFC822MailMember、属性、127  
mnggrpAdditionPolicy、属性、128  
mnggrpBillableUser、属性、128  
mnggrpCurrentUsers、属性、129

mnggrpDeletionPolicy、属性、129  
mnggrpMailQuota、属性、130  
mnggrpMaxUsers、属性、130  
mnggrpStatus、属性、131  
mnggrpUserClassOfServices、属性、131  
msgVanityDomainUser  
    その他のメールアドレスへの接続、83  
msgVanityDomainUser、オブジェクトクラス、31  
msgVanityDomain、属性、132  
MTA  
    ホスト名、最終的な宛先、98  
    ホスト名、ユーザのドメイン、103  
MTA ブロック単位のサイズ制限、92  
multiLineDescription、属性、132

## N

nickName、属性、133  
nsdaCapability、属性、138  
nsdaDomain、属性、138  
nsdaModifiableBy、属性、139  
nsDefaultMaxDeptSize、属性、133  
nsManagedDeptAdminGroup、オブジェクトクラス、32  
nsManagedDept、オブジェクトクラス、32  
nsManagedDomain、オブジェクトクラス、33  
nsManagedFamilyGroup、オブジェクトクラス、34  
nsManagedISP、オブジェクトクラス、34  
nsManagedMailList、オブジェクトクラス、35  
nsManagedOrgUnit、オブジェクトクラス、35  
nsManagedPerson、オブジェクトクラス、36  
nsMaxDepts、属性、134  
nsMaxDomains、属性、134  
nsMaxMailingLists、属性、135  
nsMaxUsers、属性、135  
nsNumDepts、属性、136  
nsNumDomains、属性、136  
nsNumMailLists、属性、137

nsNumUsers、属性、137  
nsUniquenessDomain、オブジェクトクラス、37  
nswmExtendedUserPrefs、属性、140

## O

objectClass、属性、141  
OID、155  
organizationName、属性、141  
organizationUnitName、142  
organizationUnitName、属性、142  
ou (organizationUnitName)、属性、142  
owner、属性、142  
o、属性、140

## P

pabGroup、オブジェクトクラス、38  
pabPerson、オブジェクトクラス、39  
pabURI、属性、143  
pab、オブジェクトクラス、37  
postalAddress、属性、144  
preferredLanguage、属性、145  
preferredMailHost、属性、145  
preferredMailMessageStore、属性、146

## R

RFC 1959、119  
RFC 2256、21  
RFC 2739、48  
RFC 2798、145  
RFC 822、23、116、119、121  
    mnggrpRFC822MailMember、127  
    その他の電子メールアドレス、83

## S

seeAlso、属性、146  
sieve 規則、104  
sn、属性、147

## T

telephoneNumber、属性、147

## U

uid、属性、148  
uniqueMember、属性、149  
un、属性、148  
userid、属性、150  
userPassword、属性、150  
userPresenceProfile、オブジェクトクラス、40

## V

vacationEndDate、属性、150  
vacationStartDate、属性、151

## W

Web コンテンツ  
公開、77

## あ

アカウント ID、課金、76  
アクセス  
再起動、78  
削除、78

中断、78

アクセスフィルタ  
ドメイン (domain)、90  
ユーザ、82

## い

一意名 (un)  
個人アドレスブック、109  
個人グループ、110

## え

エコー、84  
エラーメッセージ、121

## お

オブジェクトクラス  
定義、17  
オブジェクトクラスのリスト  
オブジェクトクラス  
リスト、15  
オブジェクト識別子、155

## か

課金、アカウント ID、76  
加入者、76  
カレンダー、48  
デフォルトの URI、48  
繁忙時のデータ、48  
カレンダーグループ、66  
管理グループ  
現在のステータス、131  
最大ユーザ数、130  
請求可能なユーザ、128

ユーザ数, 129  
累積ディスク容量, 130

## き

キャッチオールアドレス, 83  
共有クラス, 13  
許可された最大のメッセージサイズ  
グループへ, 122  
許可された最大ユーザ数  
管理グループ, 130  
ドメイン (domain), 54  
許可されたブロードキャスタ, 116  
決定のポリシー, 118  
拒否フィルタ, 82  
許容された最大の pub エントリ数  
ユーザ, 107  
許容される最大メッセージ数  
ユーザ, 99

## く

グループ (group)  
組織内, 142  
グループ、カレンダー, 66  
グループのメンバーシップ  
可視性, 114  
制限, 113

## け

権限  
ほかのグループの管理, 139  
権限、管理, 81  
言語  
ユーザによって優先, 145  
件名のテキスト, 84

## こ

個人アドレスブック (pab)  
pub の一意名 (un), 109  
個人グループの一意名 (un), 109  
コンテナ, 143  
最大エントリ, 107

## さ

サービス特有のオブジェクトクラス, 13  
サブツリー, 71

## し

識別名 (DN), 71  
管理者のグループ, 139  
形成、PAB エントリ内, 149  
請求可能なユーザ, 128  
ファミリーアカウンタ, 109  
メーリングリスト (mailing list), 108  
事前認証, 80  
自動応答, 85  
時間間隔, 86  
内部, 85  
自動返信, 84, 85, 89  
時間間隔, 86  
内部, 85  
シンタックス、属性, 154

## す

ステータス  
インターネットドメイン, 73  
インターネットメールグループ, 74  
インターネットユーザ, 78  
管理グループ, 131  
メールアドレス, 94  
メールユーザ, 106  
ステータス属性



相互作用, 78, 95, 106

## せ

請求可能なユーザ, 128  
制限容量レポートツール  
mailDomainMsgQuota, 92

## そ

属性  
定義, 47  
リスト, 41  
属性のシンタックス, 154  
属性のリスト, 41  
組織サブツリー, 71

## た

対象読者, 9  
タイムゾーン、有効な ISO 8601 のリスト, 155  
タグ、プログラム, 51  
誕生日の属性, 51

## ち

チャレンジフレーズ, 76  
応答, 77  
重複配信, 125

## つ

追加要求メッセージ, 127

## て

転送先  
モデレータ, 122  
添付ファイルの容量, 86

## と

動的なメーリングリスト, 119  
読者, 9  
ドメイン (domain)  
primary, 132  
バニティ, 132  
ドメインアクセス  
再起動, 73  
削除, 73  
中断, 73  
ドメインエイリアスエントリ, 52  
ドメインコンポーネント, 52  
ドメインコンポーネント, 52  
ドメイン名  
複数の DC ノード, 70  
ドメイン名 (DN)  
バニティドメイン (vanity domain), 132  
プライマリドメイン, 132  
無効化, 53

## に

認証, 72

## は

配信経路, 89  
配布リスト  
説明, 132  
バニティドメイン (vanity domain)  
作成, 132

## ふ

- ファイル
  - ローカルパス, 88
- ファミリーグループ
  - マネージャ, 142
- フィルタ
  - アクセス, 82
  - 拒否, 82
- プロキシ認証, 81
- プログラム承認プロセス, 100
- プログラムの配信, 100

## ほ

- ホスト、定義, 168
- ホワイトページ検索アプリケーション, 79

## ま

- マニュアルの表記規則, 11

## め

- メーリングリスト
  - 許可されたメンバーシップ, 110
  - 拒否されたメンバーシップ, 111
  - グループの表示, 112
- メールグループ
  - 受信メッセージサイズ, 122
- メールグループ、許可された受信メールドメイン単位, 116
  - ユーザ単位, 116
- メールグループ、拒否される受信メールドメイン単位, 120
  - ユーザ単位, 119
- メールグループのメンバーシップ
  - 可視性, 114
  - 制限, 113
  - 代替の指定方法, 118

- メール容量
  - 管理グループ, 130
  - ユーザ, 101
- メッセージサイズ
  - メールグループへ, 122
- メッセージストア
  - パーティション名, 98
- メッセージ制限容量 (message quota), 92
- メッセージの最大サイズ, 99
- メッセージ配信、保証, 106

## も

- モデレータ
  - メッセージの転送先, 122

## ゆ

- ユーザ, 54
- ユーザ ID、複合, 53, 72
- ユーザ規則, 104

## よ

- 容量, 101
  - mailClientAttachmentQuota, 86
  - mailDomainMsgQuota, 92
  - mailMsgQuota, 99
  - mnggrpMailQuota, 130
  - ソフト, 100
  - ハード, 100

## り

- リファレンス、解釈済み, 100

## ろ

ローカルパス, 88

ログインシーケンス、応答, 80

ログイン文字列、再構成, 80

## わ

割り当てられたディスク領域, 101

